

土木・建築連携に関するアンケート

集計結果



設問一覧

No.	設問	選択肢
1	年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上
2	性別	<ul style="list-style-type: none"> ・男性 ・女性 ・その他/答えない
3	業種	<ul style="list-style-type: none"> ・官公庁 ・研究・教育機関 ・学生 ・インフラ関係 ・デベロッパー ・コンサルタント ・設計事務所 ・建設業(土木) ・建設業(建築) ・製造業・メーカー ・その他

No.	設問	選択肢
4	所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ・土木学会 ・日本建築学会 ・両方
5	専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ・土木材料 ・土木施工および建設マネジメント関連 ・土木構造工学および地震工学関連 ・地盤工学関連 ・水工学関連 ・土木計画学および交通工学関連 ・土木環境システム関連 ・建築構造および材料関連 ・建築環境および建築設備関連 ・建築計画および都市計画関連 ・建築史および意匠関連 ・その他

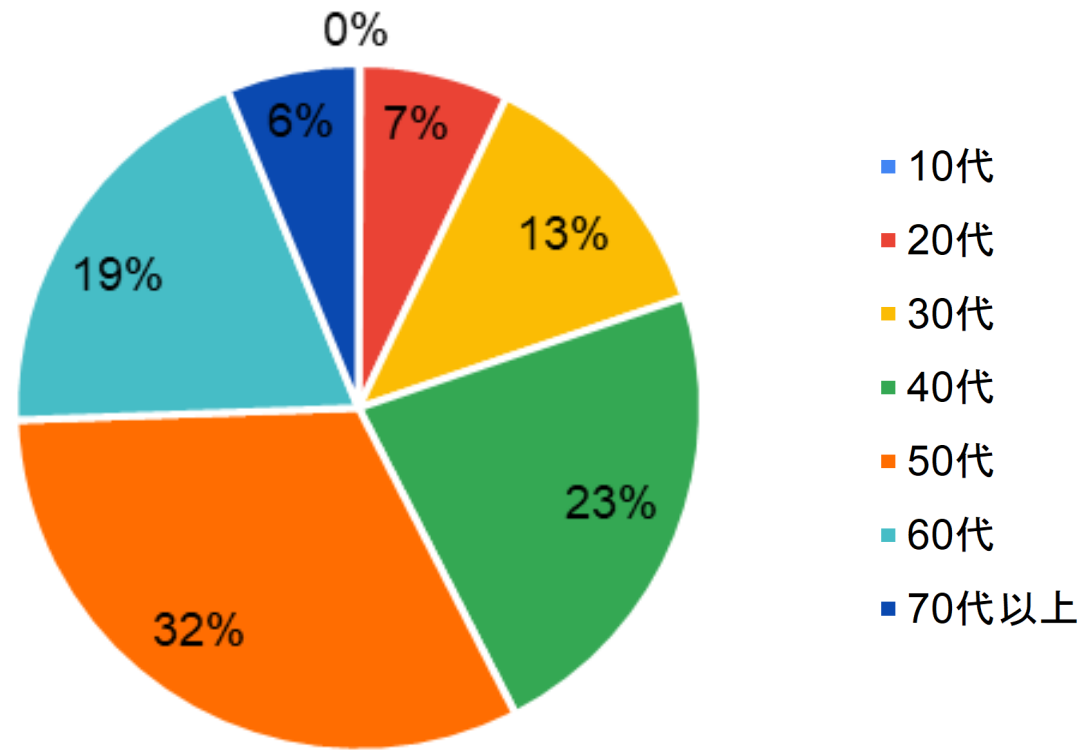
設問一覧

No.	設問	選択肢
6	土木工学(あるいは土木技術者)の重要な役割は下記のうちどれだと思いますか？(3つまで選択可)	①地球の環境を守る ②人の命と財産を守る ③文化的価値を保全する ④快適な生活環境を作る ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇) ⑥経済的な発展に寄与する ⑦文化的発展に寄与する
7	建築学(あるいは建築設計者・技術者)の重要な役割は下記のうちどれだと思いますか？(3つまで選択可)	①地球の環境を守る ②人の命と財産を守る ③文化的価値を保全する ④快適な生活環境を作る ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇) ⑥経済的な発展に寄与する ⑦文化的発展に寄与する
8	現在、業務上や研究上で、土木と建築で連携の必要性は感じていますか？	・はい ・いいえ
9	現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分かれていることで不便を感じたことはありますか？	・はい ・いいえ

設問一覧

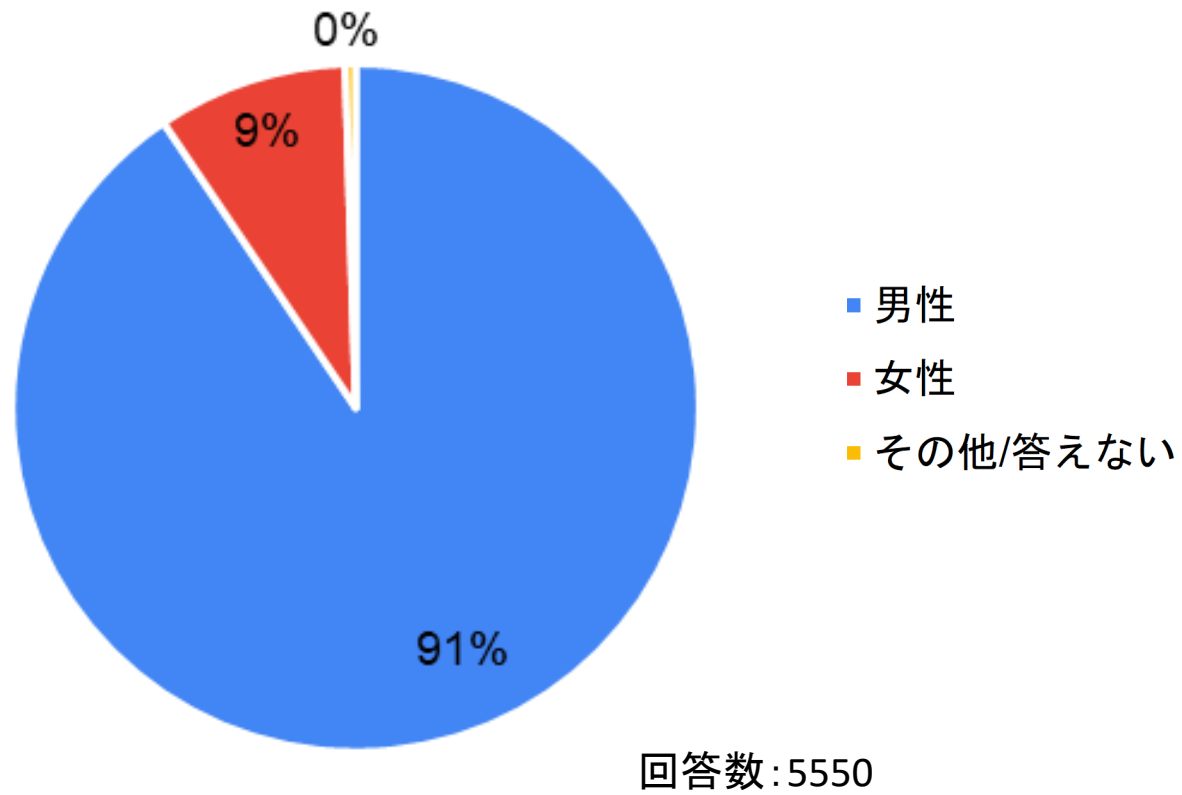
No.	設問	選択肢
10	現在、連携の必要性を感じないのはなぜですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・連携にあたって調整などの仕事が増えるから ・業界としては連携する必要があるが、個人としては連携する必要性を感じないから ・現状の土木業界や建築業界の在り方に問題を感じていないから ・その他
11	土木・建築が連携するにあたって、どのようなところに不便を感じていますか？ (3つまで選択可)	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の煩雑さ:例)1つの事業でも扱うものによって参照すべき法令が異なる ・技術の違い:例)技術基準,用語・数式,ツールなどが異なっていて、誤解が生じる ・組織の壁:例)所属組織,学協会,業界などが異なり、研究などに支障が出る ・価値観の違い:例)受けてきた教育の違い等により、基本的に目指すところが違うなど価値観が異なる ・連携による仕事の増加:例)連携にあたって通常よりも作業量や調整が増加する ・その他
12	今後、土木と建築はどのような内容に対し連携して取り組むべきと考えますか？ (現在、連携の必要性を感じない方も将来の観点で回答ください。) (3つまで選択可)	<ol style="list-style-type: none"> ①地球の環境を守る ②人の命と財産を守る ③文化的価値を保全する ④快適な生活環境を作る ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇) ⑥経済的な発展に寄与する ⑦文化的発展に寄与する その他

1. 年齢

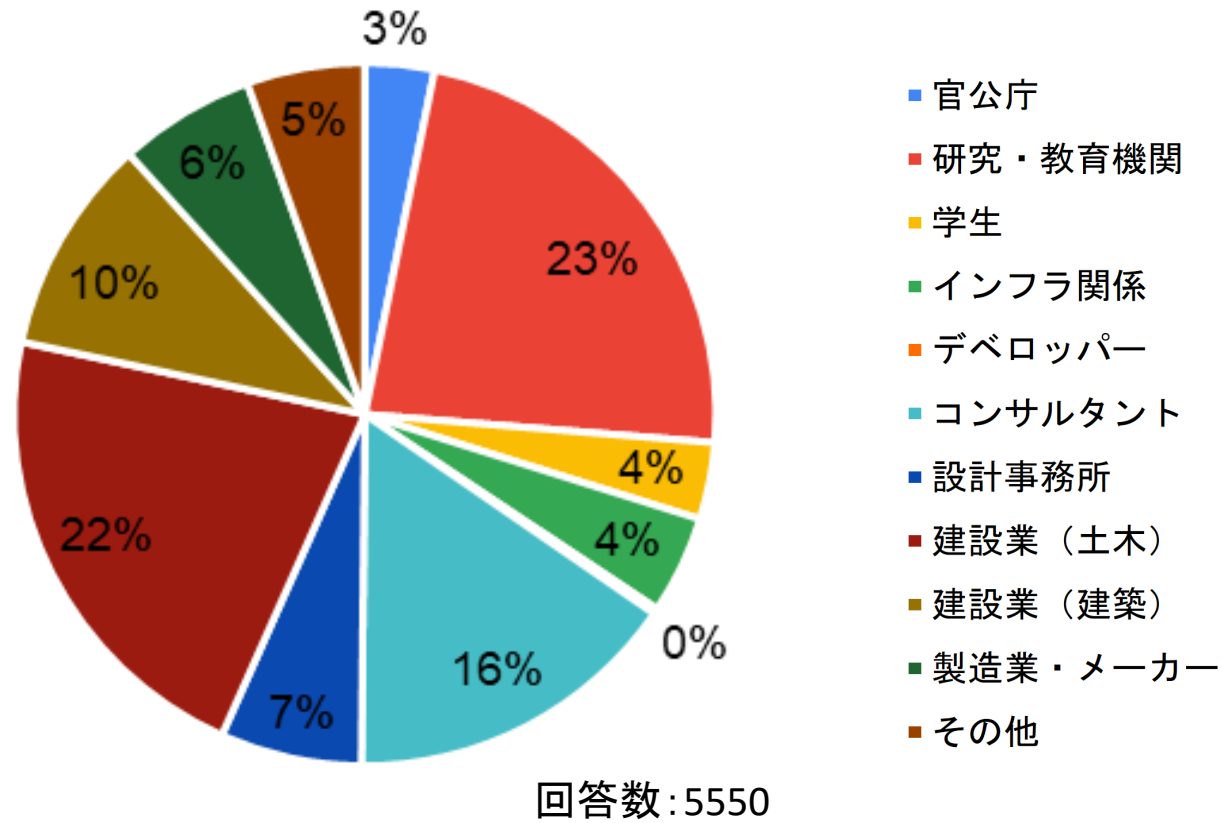


回答数: 5550

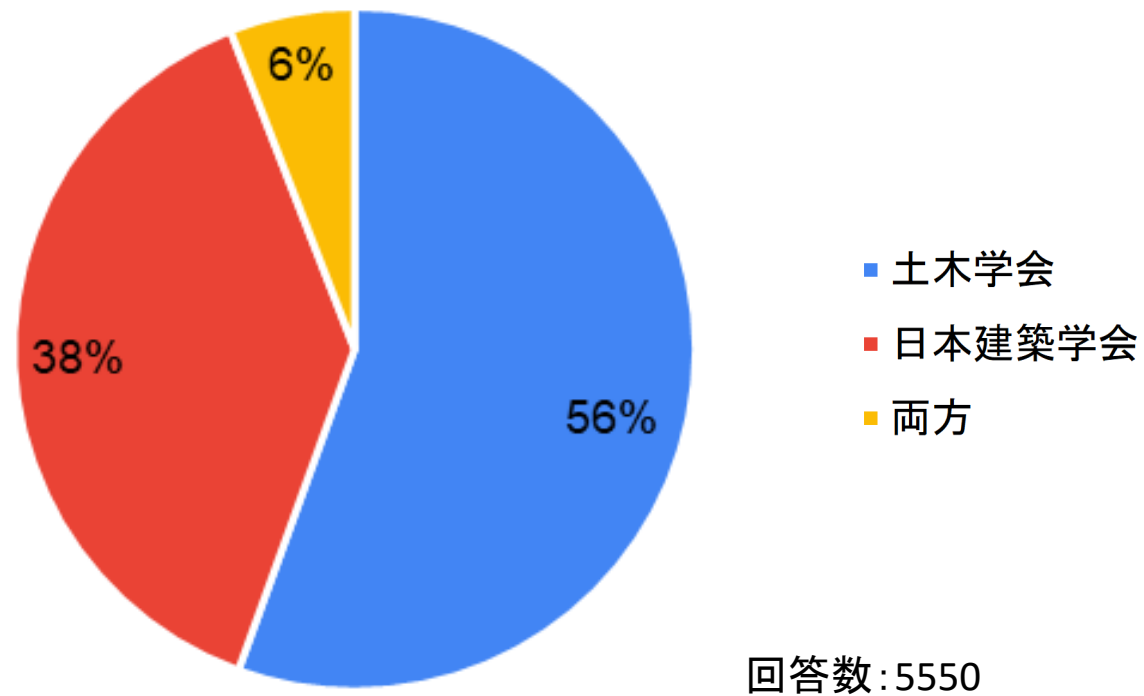
2.性別



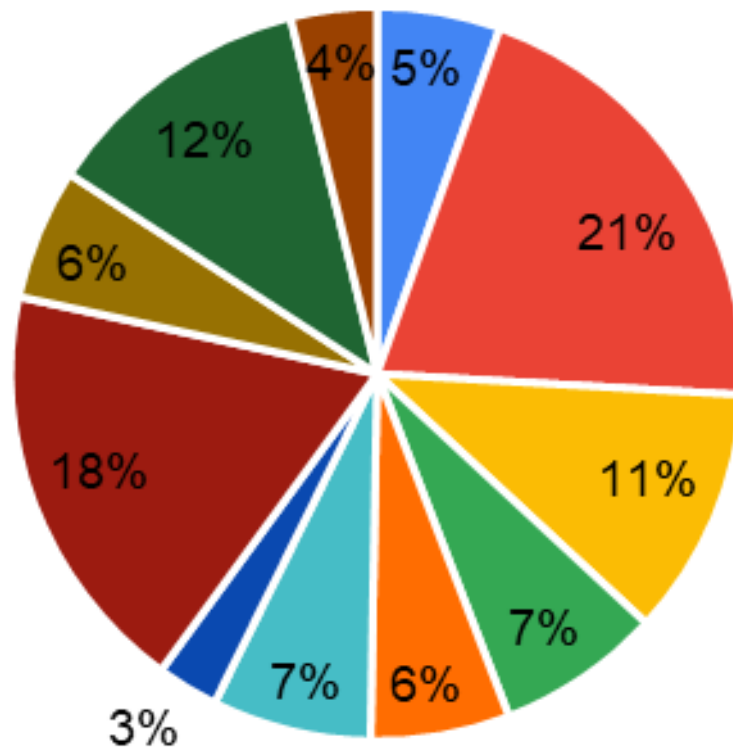
3.業種



4.所属学会



5. 専門分野

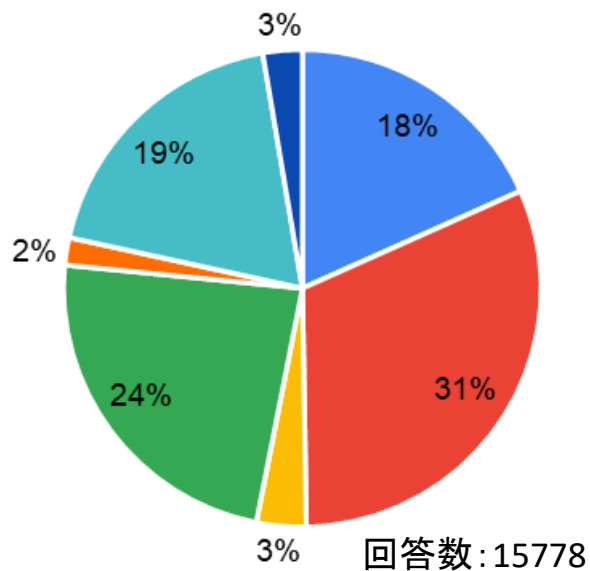


回答数: 5550

- 土木材料
- 土木施工および建設マネジメント関連
- 土木構造工学および地震工学関連
- 地盤工学関連
- 水工学関連
- 土木計画学および交通工学関連
- 土木環境システム関連
- 建築構造および材料関連
- 建築環境および建築設備関連
- 建築計画および都市計画関連

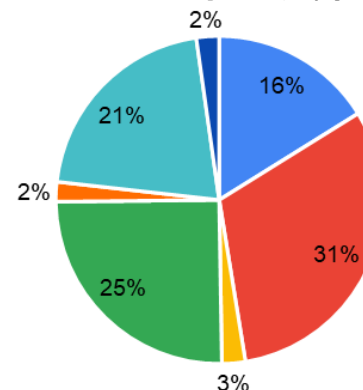
6.土木工学(あるいは土木技術者)の重要な役割は下記のうちどれだと思いますか？

全体・所属学会別回答

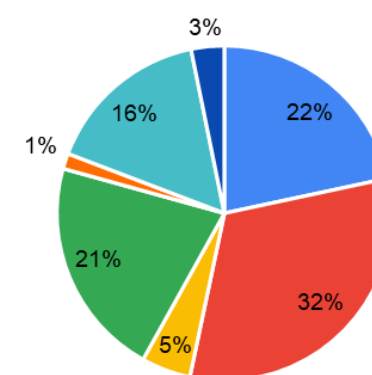


- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する

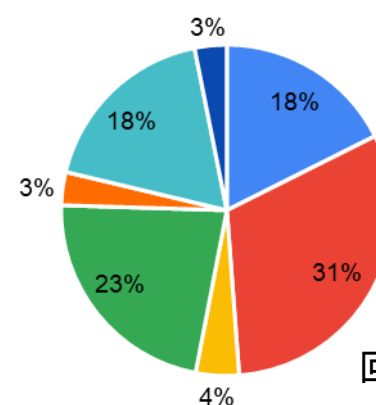
6. (土木学会所属)



6. (日本建築学会所属)



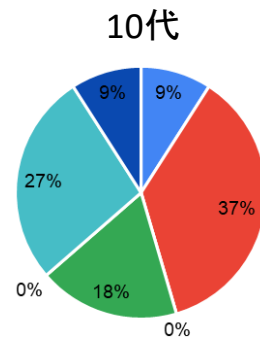
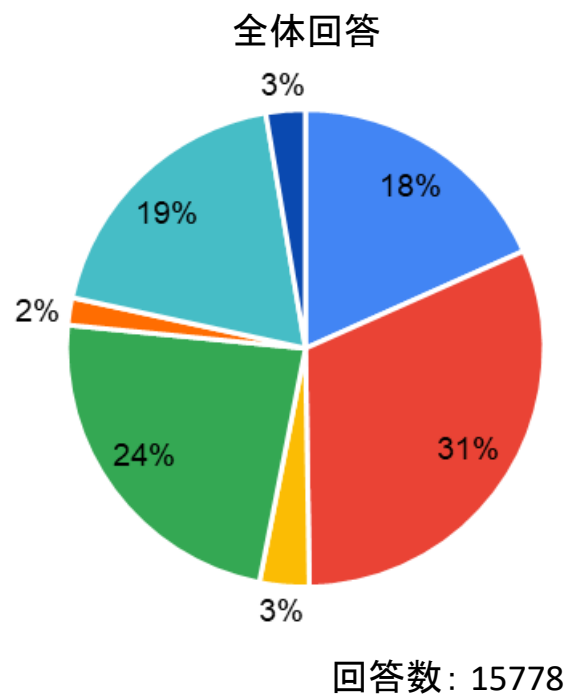
6. (両方)



・上位4項目は「地球環境」「人命と財産」「生活環境」「経済発展」で同じであるが、土木学会所属者は「経済発展」に、建築学会所属者は「地球環境」により大きな役割を期待している。

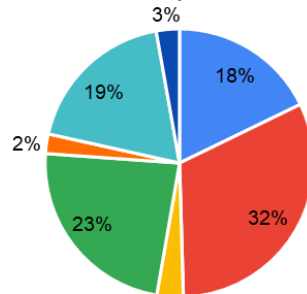
6.土木工学(あるいは土木技術者)の重要な役割は下記のうちどれだと思いますか？

年齢別回答



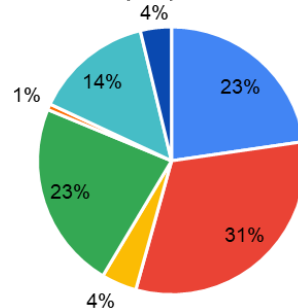
回答数: 11

40代



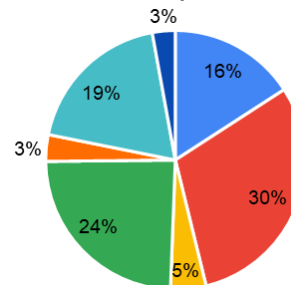
回答数: 3557

70代以上



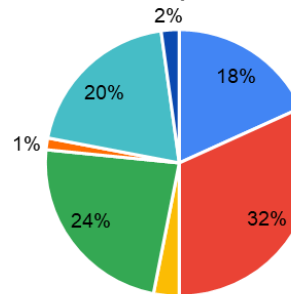
回答数: 987

20代



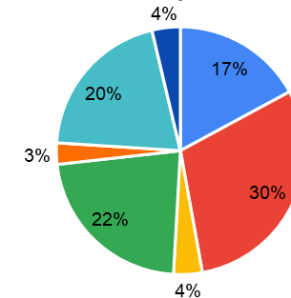
回答数: 1085

50代



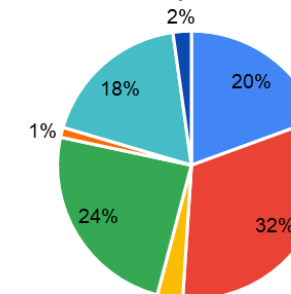
回答数: 5070

30代



回答数: 2006

60代



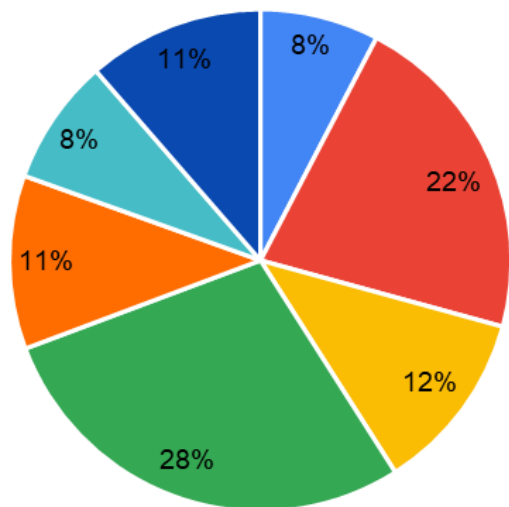
回答数: 3062

・70代以上の回答では、「地球の環境を守る」ことを期待する割合が大きい。
 ・その他の年齢では、回答数の少ない10代を除き、概ね同様の傾向であった。

- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する

7. 建築学(あるいは建築設計者・技術者)の重要な役割は下記のうちどれだと思いますか？

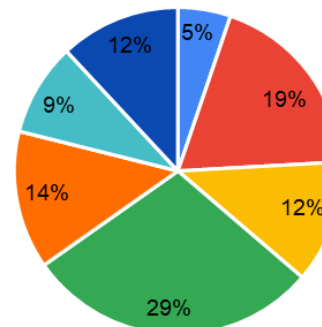
全体・所属学会別回答



回答数: 15857

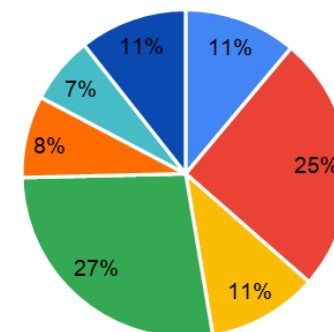
- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする (娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する

7. (土木学会所属)



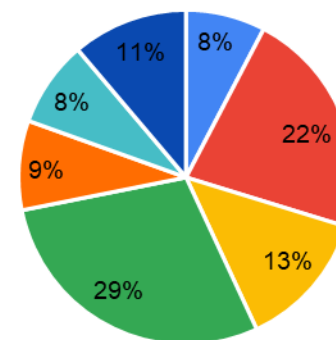
回答数: 8750

7. (日本建築学会所属)



回答数: 6169

7. (両方)

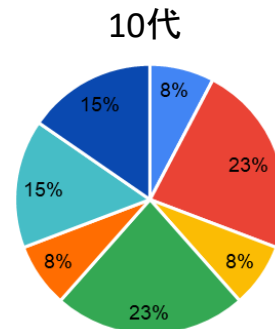
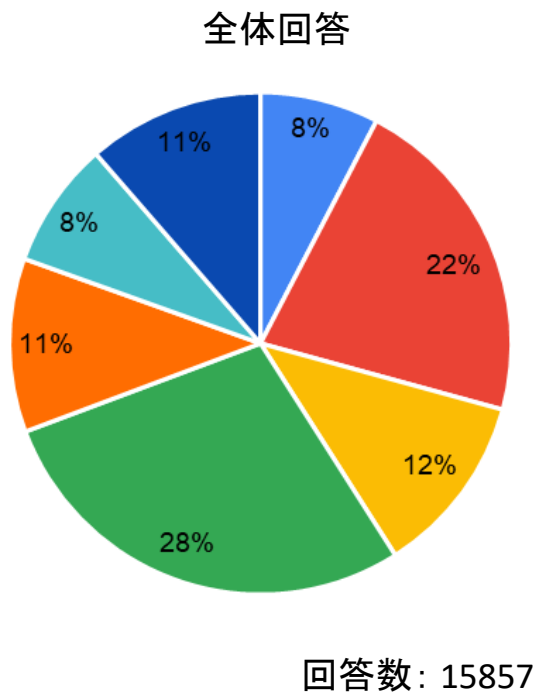


回答数: 938

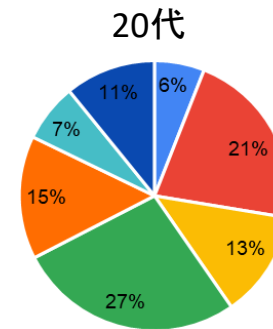
・土木学会所属者は、建築学に主に「**快適な生活環境を作る**」ことを期待している。
 ・一方建築学会所属者は、「**快適な生活環境を作る**」ことに加え「**人命と財産を守る**」ことも重要な役割と認識している。
 ・建築学会所属者は土木学会所属者よりも「**地球環境を守る**」ことが重要な役割と認識している。
 ・両学会に所属している人は、土木学会所属者と似たような傾向である。「**地球の環境を守る**」割合が小さい

7. 建築学(あるいは建築設計者・技術者)の重要な役割は下記のうちどれだと思いますか？

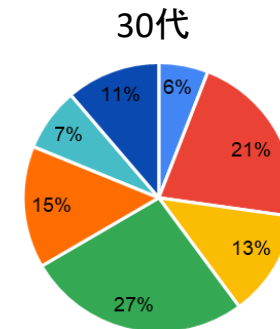
年齢別回答



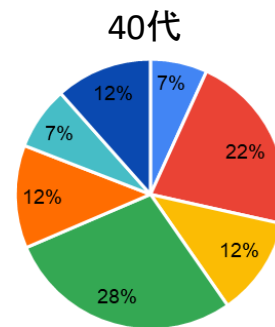
回答数: 13



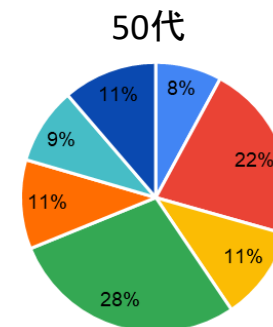
回答数: 1105



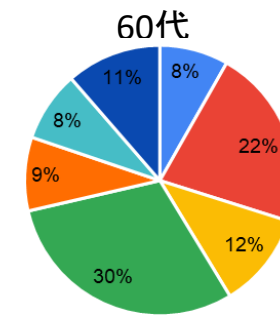
回答数: 2020



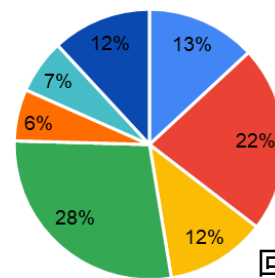
回答数: 3572



回答数: 5098



回答数: 3064



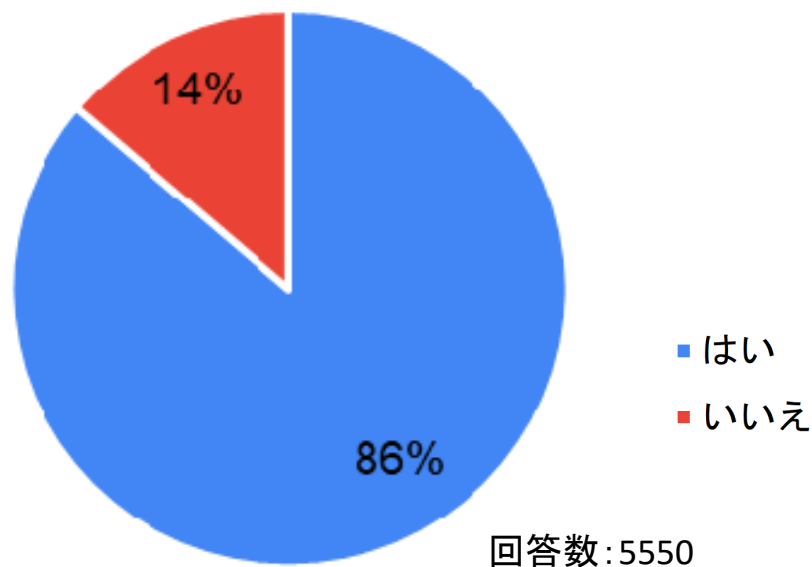
回答数: 985

- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する

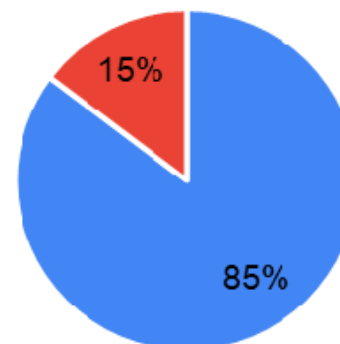
・70代以上の回答では、「地球の環境を守る」ことを期待する割合が大きい。
 ・回答数の少ない10代を除き、若い年代の回答は「人生を豊かにする」ことを期待する割合が大きい。

8. 現在、業務上や研究上で、土木と建築で連携の必要性は感じていますか？

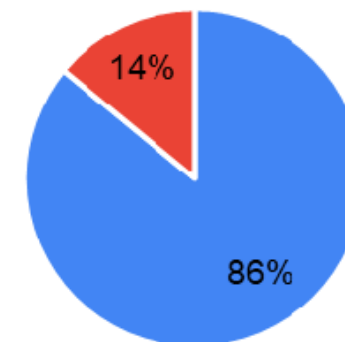
全体・所属学会別回答



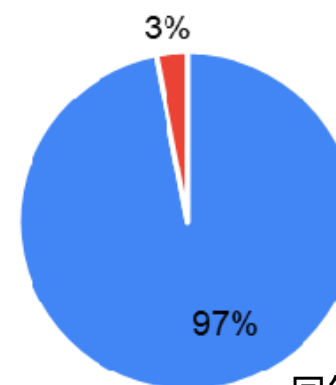
8. (土木学会所属)



8. (日本建築学会所属)



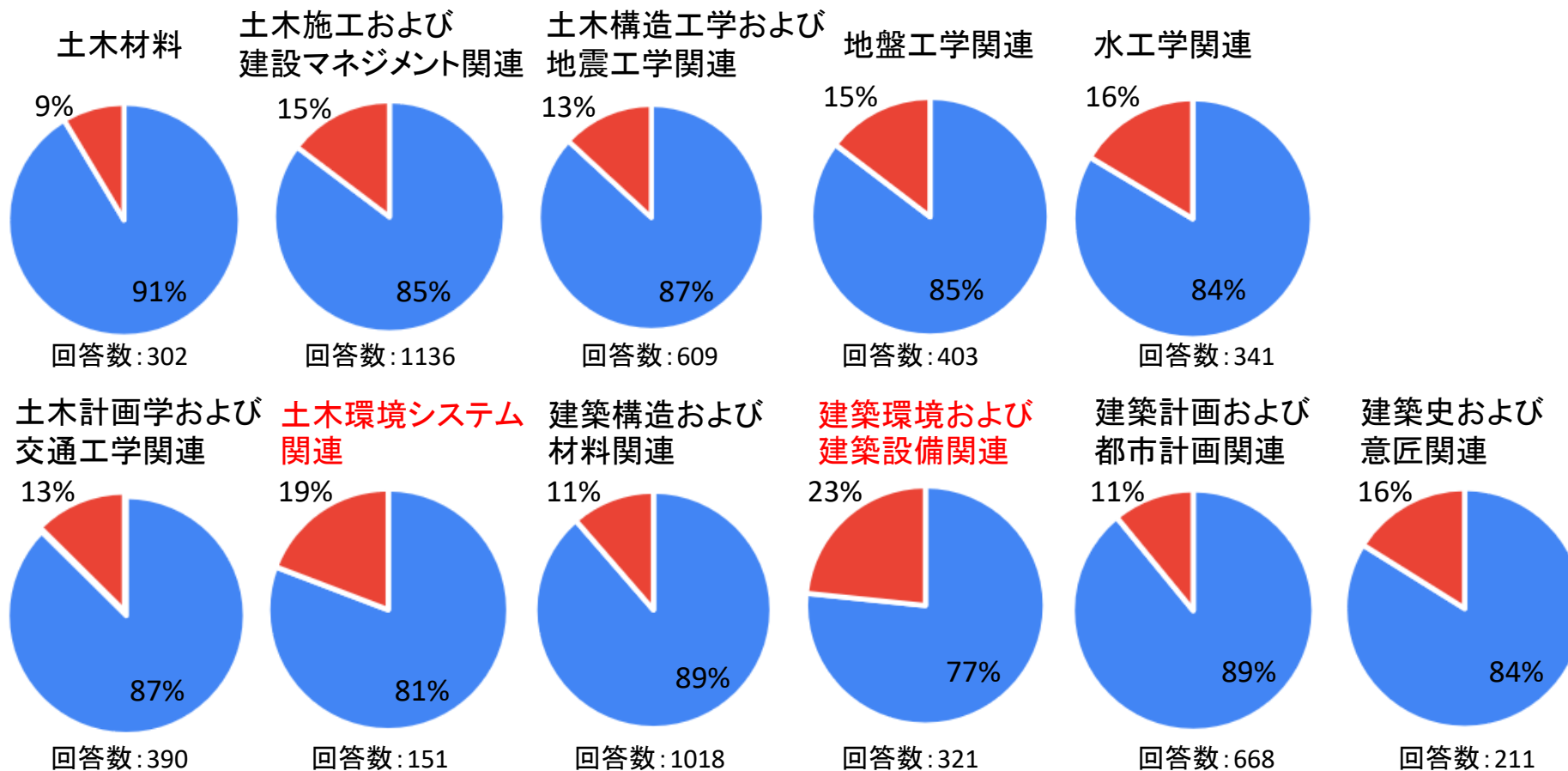
8. (両方)



- ・所属学会の別によらず、概ね85%の回答者が土木と建築で連携が必要と感じている。
- ・両学会に所属している人は、連携の必要性を感じている割合が大きい。

8. 現在、業務上や研究上で、土木と建築で連携の必要性は感じていますか？

専門分野別回答



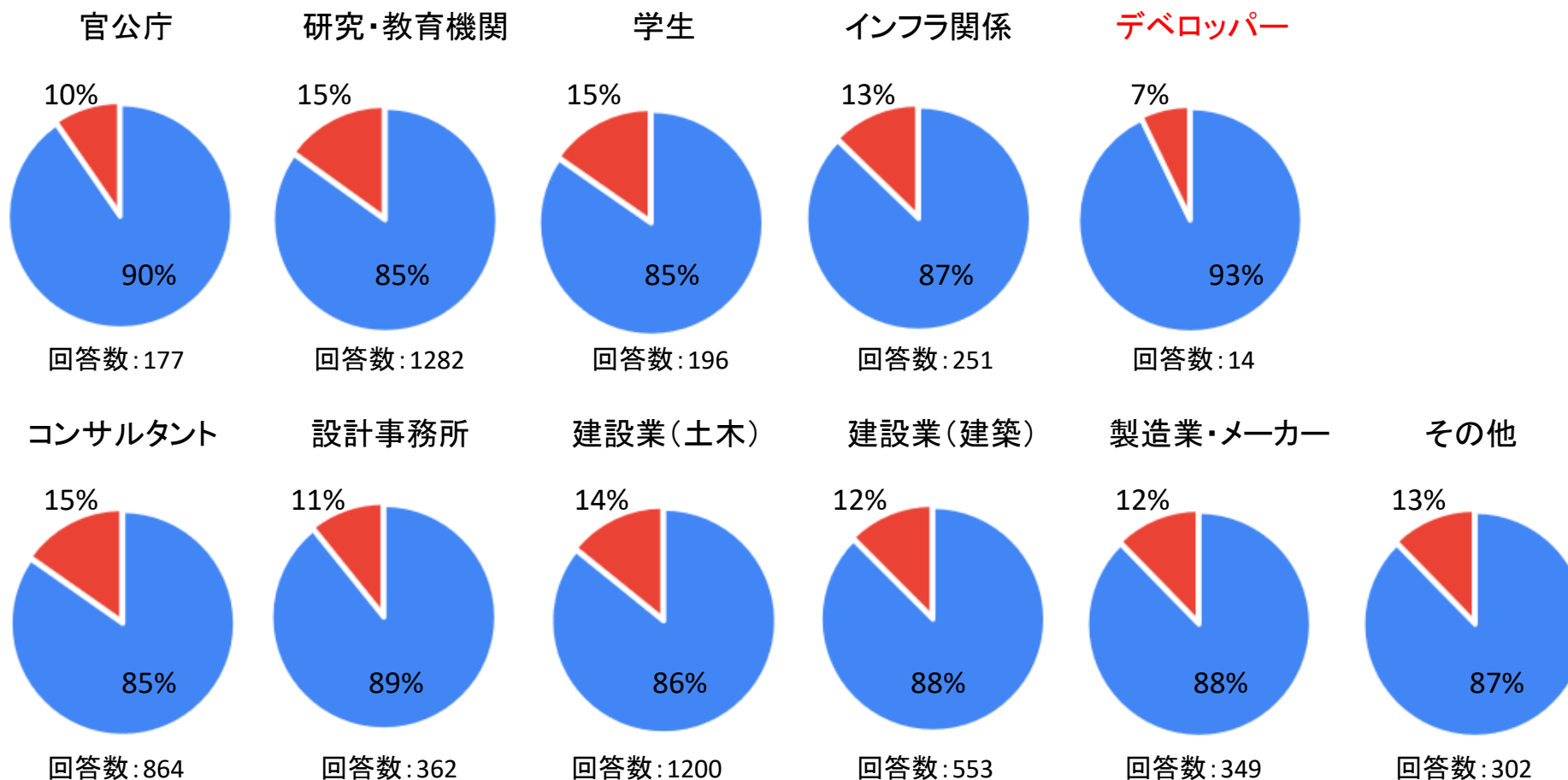
・連携の必要性を感じている割合は概ね同程度であるが、「土木環境システム関連」、「建築環境及び建築設備関連」では若干小さい傾向がある。

■ はい ■ いいえ

回答数合計: 5550

8. 現在、業務上や研究上で、土木と建築で連携の必要性は感じていますか？

所属別回答

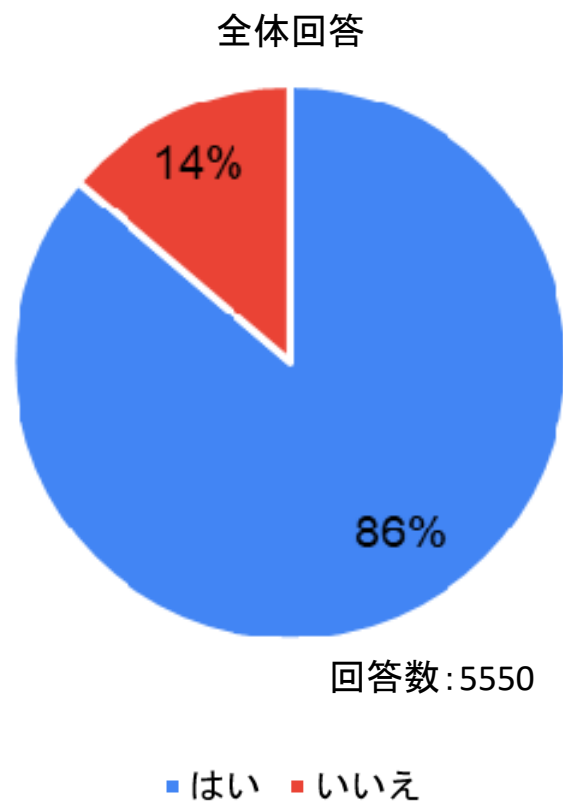


・回答母数は少ないが、「デベロッパー」では連携が必要であると回答した割合が大きい。

■ はい ■ いいえ
回答数合計: 5550

8. 現在、業務上や研究上で、土木と建築で連携の必要性は感じていますか？

「デベロッパー」による回答



土木計画学および交通工学関連



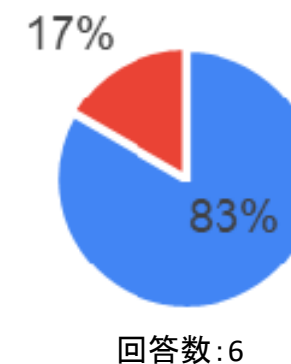
土木施工および建設マネジメント関連



建築構造および材料関連



建築計画および都市計画関連

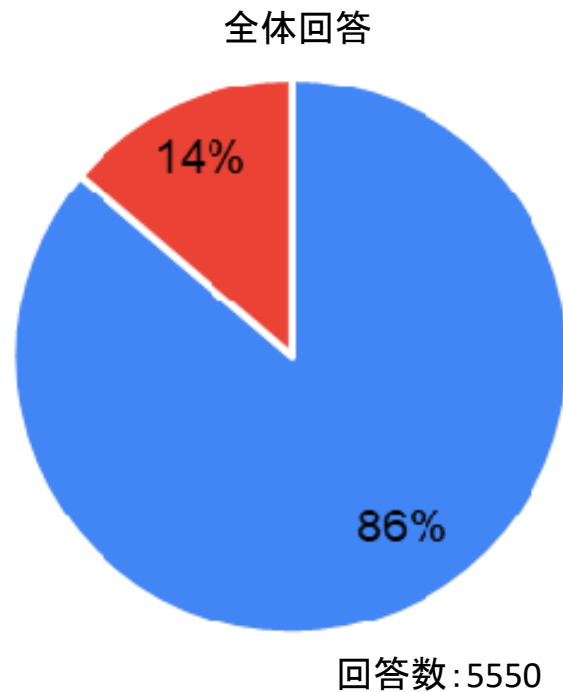


「デベロッパー」回答数: 14

・「デベロッパー」からは土木、建築両分野から回答があり、連携の必要性を感じないと回答したのは「**建築計画及び都市計画関連**」のみであった。

8. 現在、業務上や研究上で、土木と建築で連携の必要性は感じていますか？

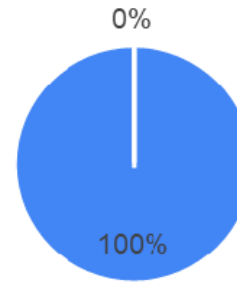
年齢別回答



■ はい ■ いいえ

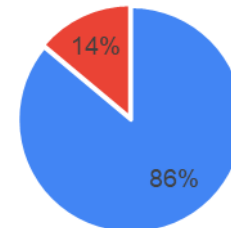
・年齢別では、連携の必要性を感じている割合に大きな差はなかった。

10代



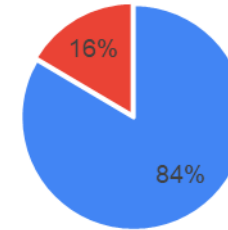
回答数: 5

40代



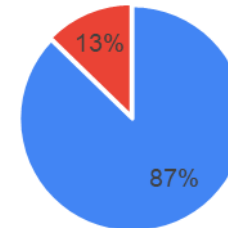
回答数: 1258

20代



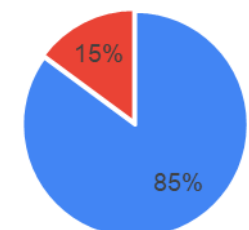
回答数: 388

50代



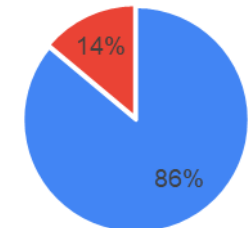
回答数: 1775

30代



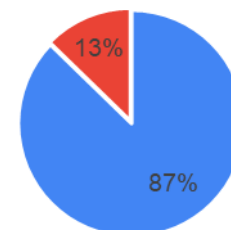
回答数: 705

60代



回答数: 1073

70代以上

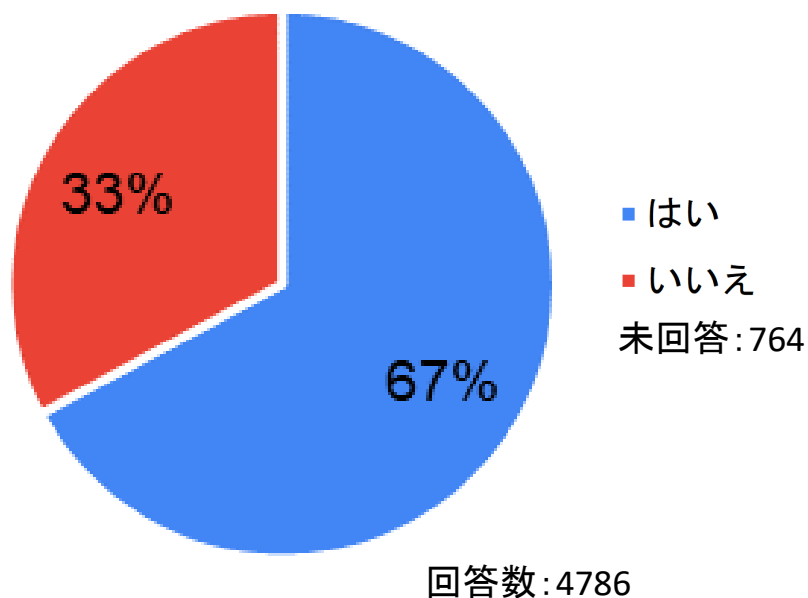


回答数: 346

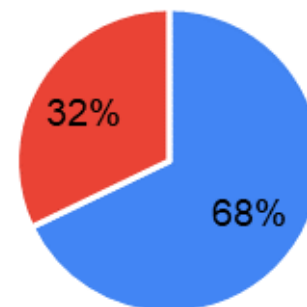
回答数合計: 5550

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

全体・所属学会別回答

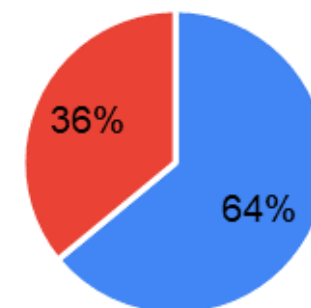


9. (土木学会所属)



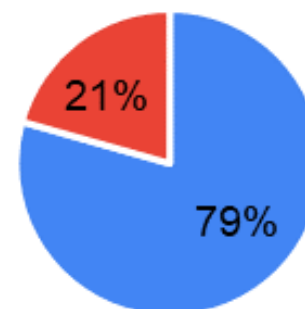
回答数: 2629

9. (日本建築学会所属)



回答数: 1837

9. (両方)

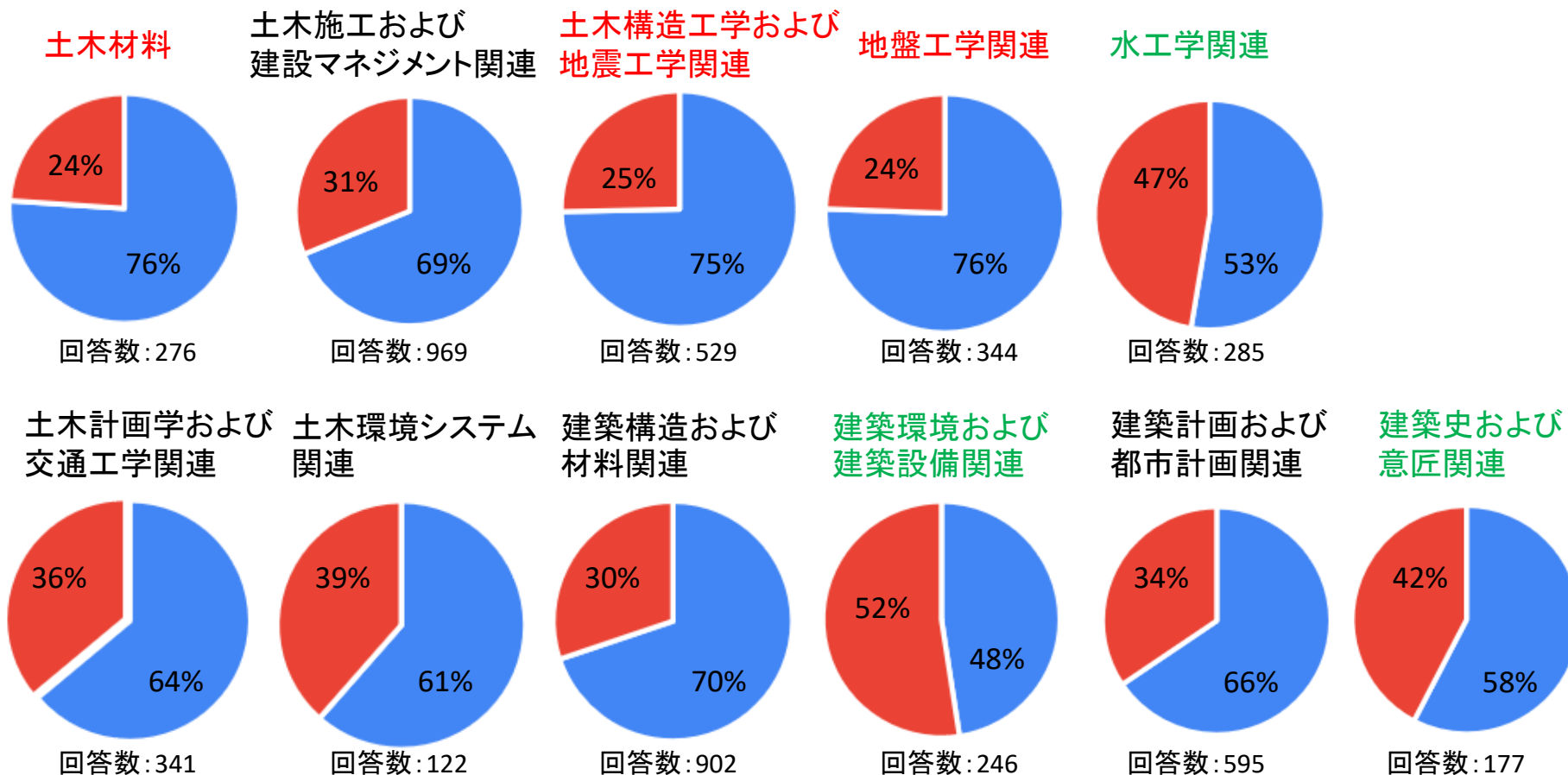


回答数: 320

・土木学会と建築学会のいずれかのみ
に所属している人では、不便
を感じた割合は同程度である。
・両学会に所属している人は、
不便を感じた割合が大きい。

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

専門分野別回答

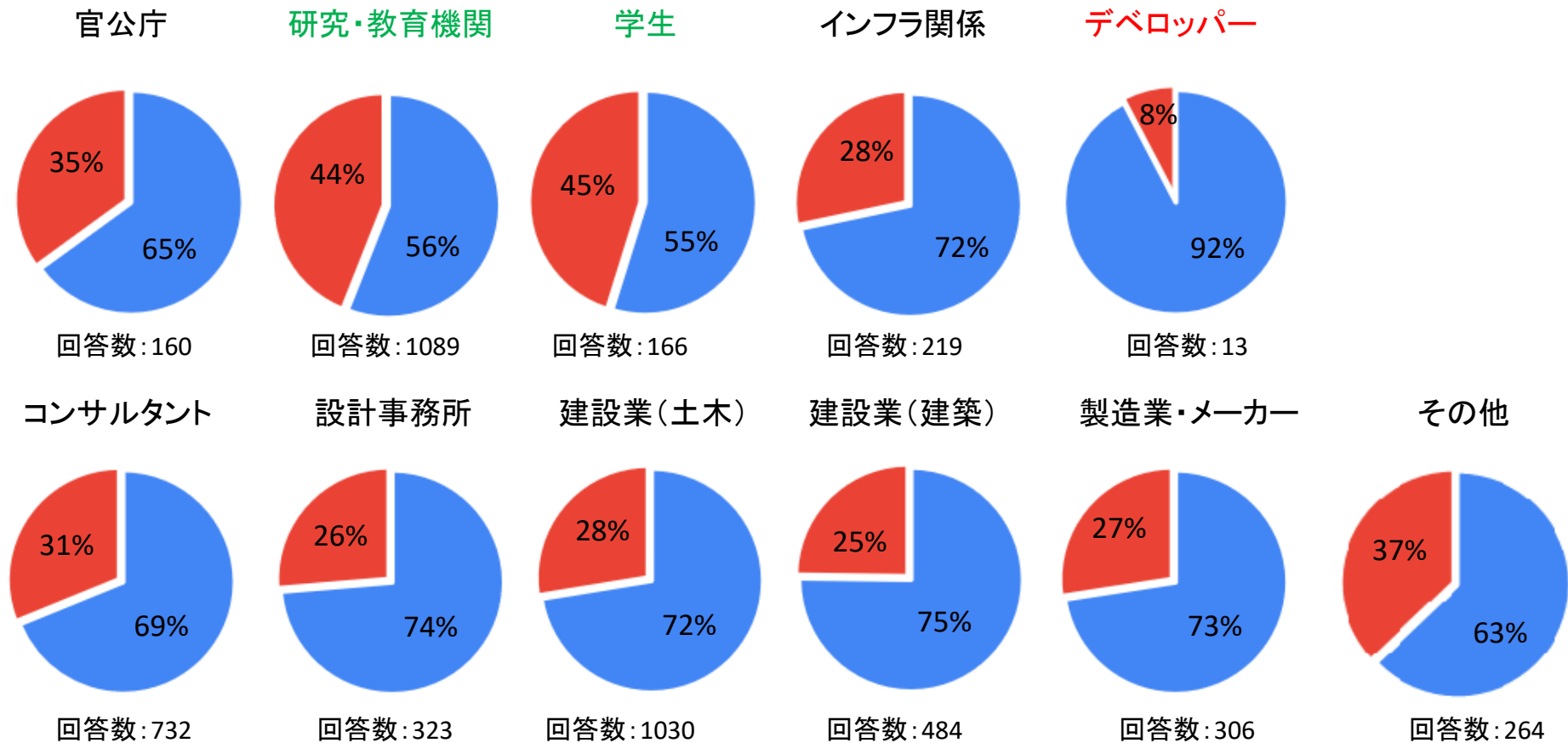


・不便を感じた割合は、「土木材料」、「土木構造工学および地震工学関連」、「地盤工学関連」で若干大きい傾向がある。
 ・「水工学関連」、「建築環境および建築設備関連」、「建築史および意匠関連」では、不便を感じた割合は相対的に小さい。

■ はい ■ いいえ
 回答数合計: 4786

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

所属別回答

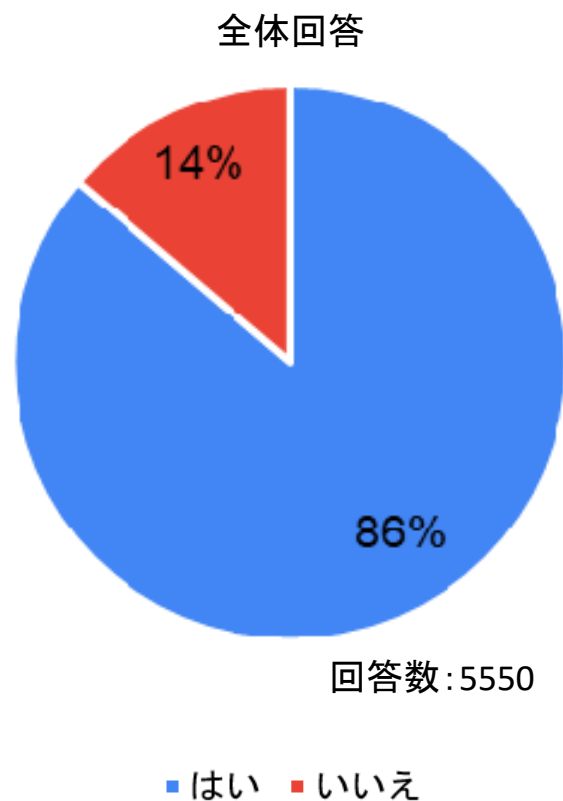


■ はい ■ いいえ
回答数合計: 4786

- ・不便を感じた所属分野は、「研究・教育機関」、「学生」で小さい傾向がある。
- ・回答母数は少ないが、「デベロッパー」では不便を感じている傾向が強い。
- ・上記を除けば、不便を感じている所属分野は概ね70%前後である。

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

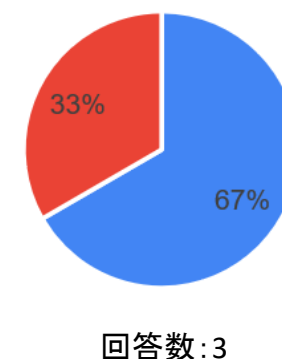
「デベロッパー」による回答



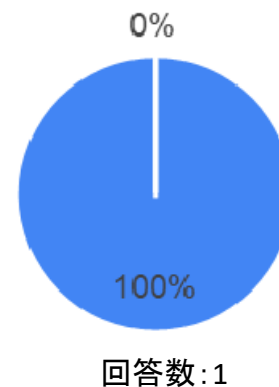
土木計画学および交
通工学関連



土木施工および建設
マネジメント関連



建築構造および
材料関連



建築計画および
都市計画関連



「デベロッパー」回答数: 13

・不便を感じたことがないと回答したのは「土木
施工および建設マネジメント関連」のみであっ
た。

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

「インフラ関係」による回答

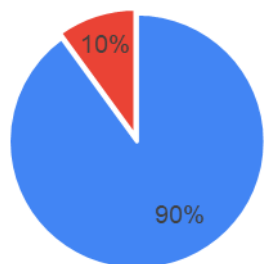
土木材料

土木施工および
建設マネジメント関連

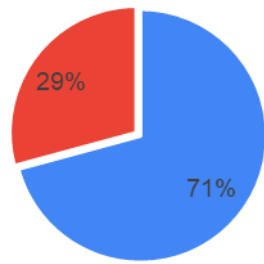
土木構造工学および
地震工学関連

地盤工学関連

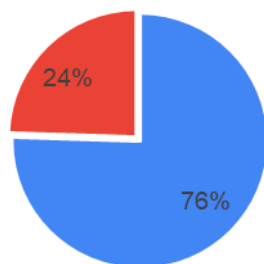
水工学関連



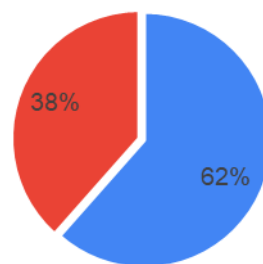
回答数:10



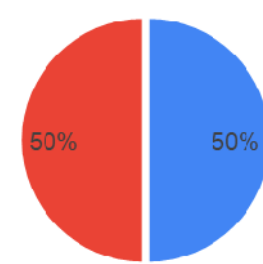
回答数:69



回答数:49



回答数:13



回答数:10

土木計画学および
交通工学関連

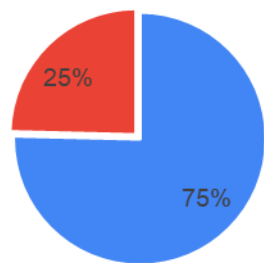
土木環境システム
関連

建築構造および
材料関連

建築環境および
建築設備関連

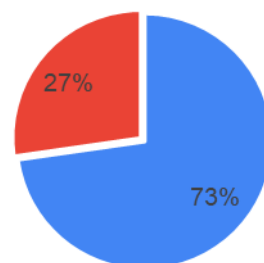
建築計画および
都市計画関連

建築史および
意匠関連

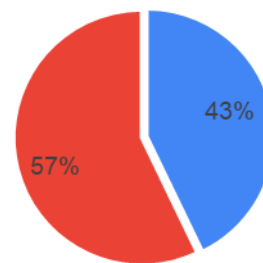


回答数:40

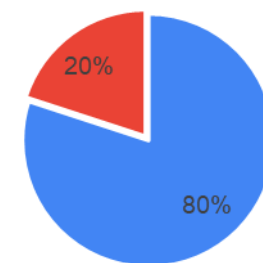
該当なし



回答数:11



回答数:7



回答数:10

該当なし

回答数合計:219

【「インフラ関係」による回答】

- ・不便を感じた割合は「土木材料」、「建築計画及び都市計画関連」で大きい
- ・不便を感じた割合は「水工学関連」、「建築環境および建築設備関連」で小さい

■ はい ■ いいえ

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

「コンサルタント」による回答

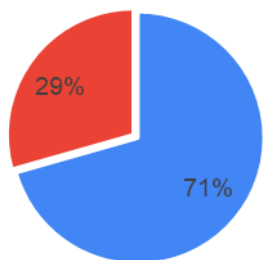
土木材料

土木施工および
建設マネジメント関連

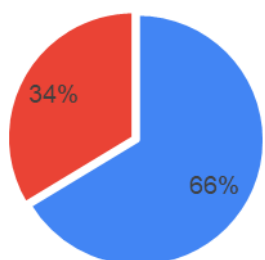
土木構造工学および
地震工学関連

地盤工学関連

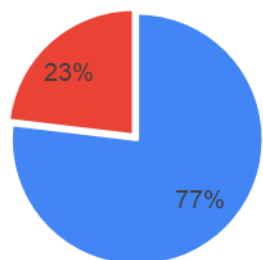
水工学関連



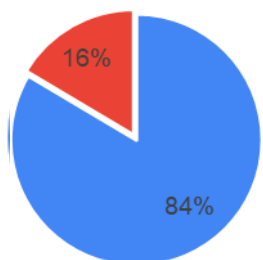
回答数:17



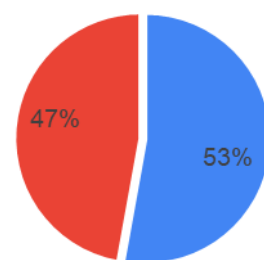
回答数:101



回答数:186



回答数:85



回答数:123

土木計画学および
交通工学関連

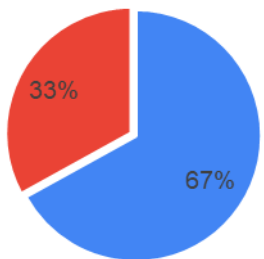
土木環境システム
関連

建築構造および
材料関連

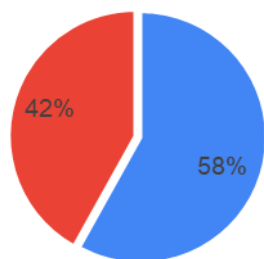
建築環境および
建築設備関連

建築計画および
都市計画関連

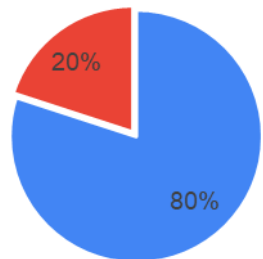
建築史および
意匠関連



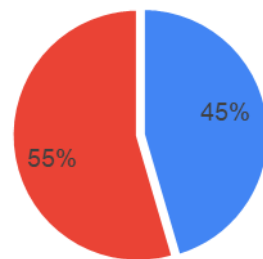
回答数:100



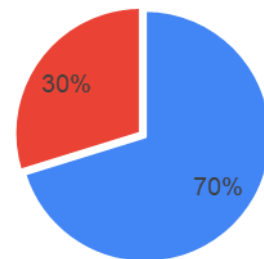
回答数:31



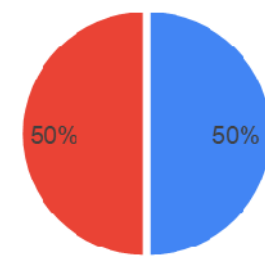
回答数:25



回答数:11



回答数:47



回答数:6

【「コンサルタント」による回答】

- ・不便を感じた割合は、「地盤工学関連」、「建築構造および材料関連」で大きい
- ・不便を感じた割合は「水工学関連」、「建築環境および建築設備関連」、「建築史および意匠関連」で小さい

回答数合計:732

■ はい ■ いいえ

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

「製造業・メーカー」による回答

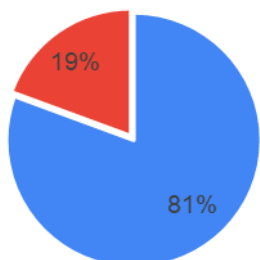
土木材料

土木施工および
建設マネジメント関連

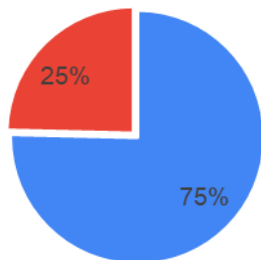
土木構造工学および
地震工学関連

地盤工学関連

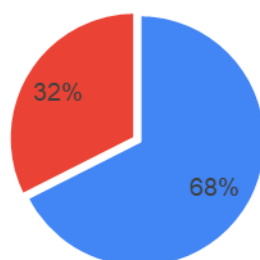
水工学関連



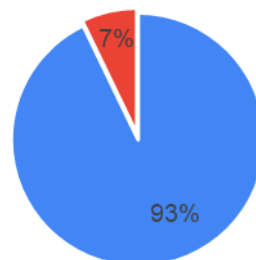
回答数:98



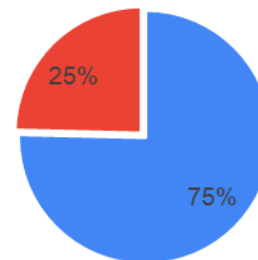
回答数:16



回答数:37



回答数:14



回答数:4

土木計画学および
交通工学関連

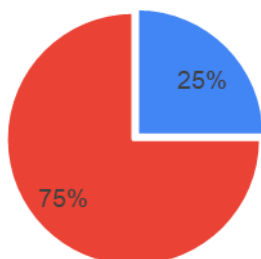
土木環境システム
関連

建築構造および
材料関連

建築環境および
建築設備関連

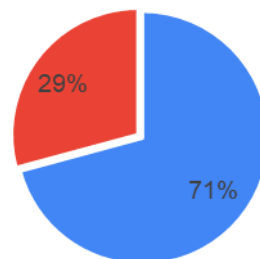
建築計画および
都市計画関連

建築史および
意匠関連

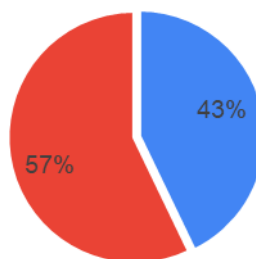


回答数:4

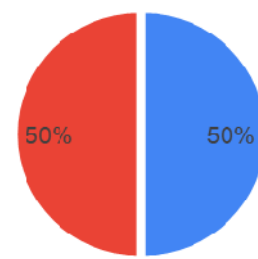
該当なし



回答数:113



回答数:14



回答数:6

該当なし

【「製造業・メーカー」による回答】

- ・不便を感じた割合は「土木材料」、「地盤工学関連」で大きい
- ・不便を感じた割合は「土木計画学および交通工学関連」、「建築環境および建築設備関連」、「建築計画および都市計画関連」で小さい

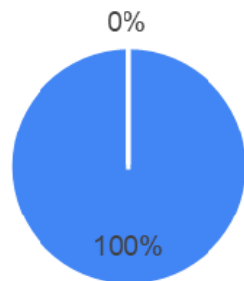
回答数合計:306

■ はい ■ いいえ

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

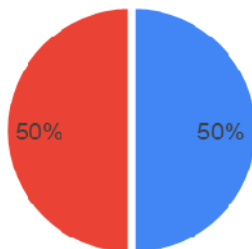
「設計事務所」による回答

土木材料



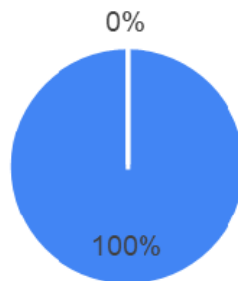
回答数: 1

土木施工および
建設マネジメント関連



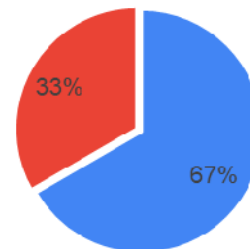
回答数: 4

土木構造工学および
地震工学関連



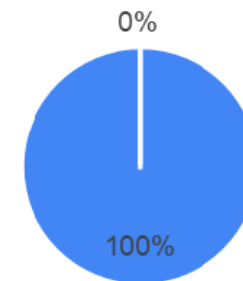
回答数: 5

地盤工学関連



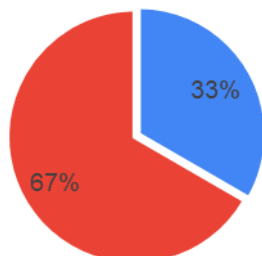
回答数: 3

水工学関連



回答数: 1

土木計画学および
交通工学関連



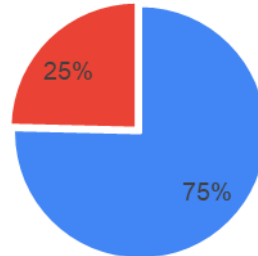
回答数: 3

土木環境システム
関連



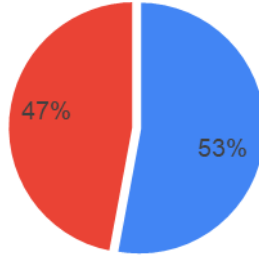
回答数: 3

建築構造および
材料関連



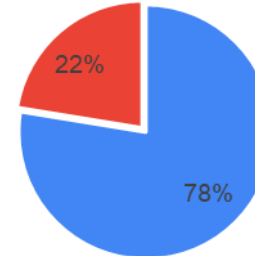
回答数: 130

建築環境および
建築設備関連



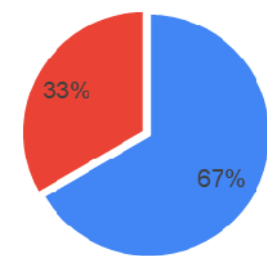
回答数: 17

建築計画および
都市計画関連



回答数: 107

建築史および
意匠関連



回答数: 49

【「設計事務所」による回答】

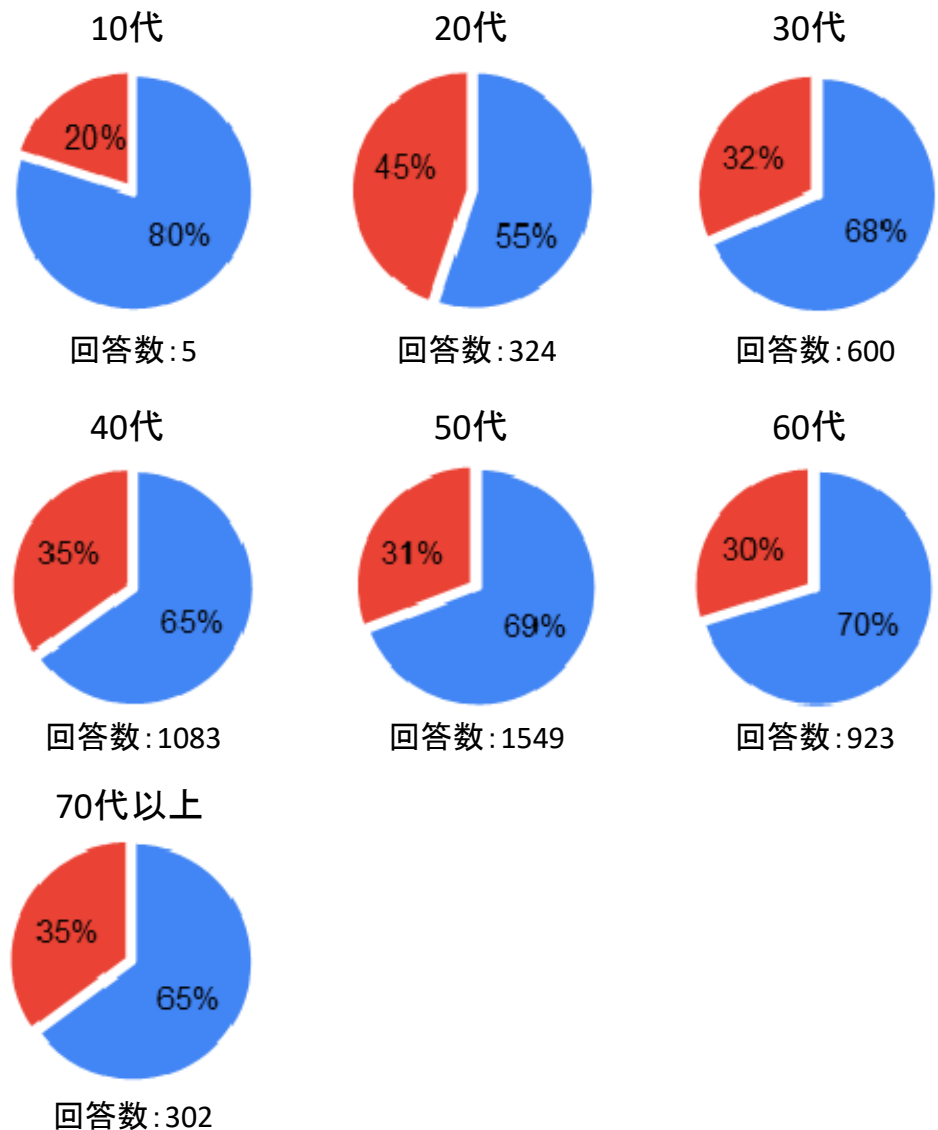
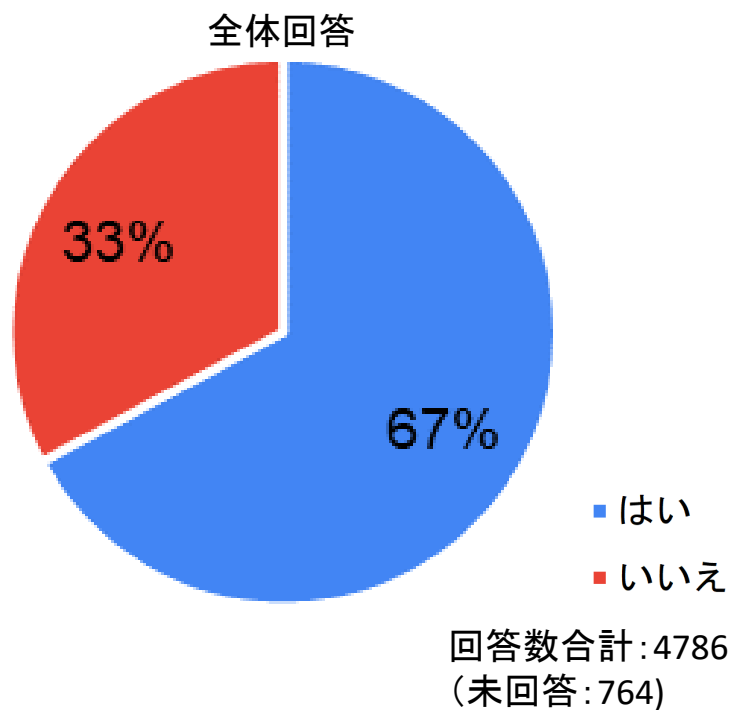
- ・不便を感じた割合は、「**建築構造および材料関連**」、「**建築計画および都市計画関連**」で大きい
- ・不便を感じた割合は「**建築環境および建築設備関連**」で小さい

回答数合計: 323

■ はい ■ いいえ

9. 現在、業務上や研究上で、土木と建築とが分か れていることで不便を感じたことはありますか？

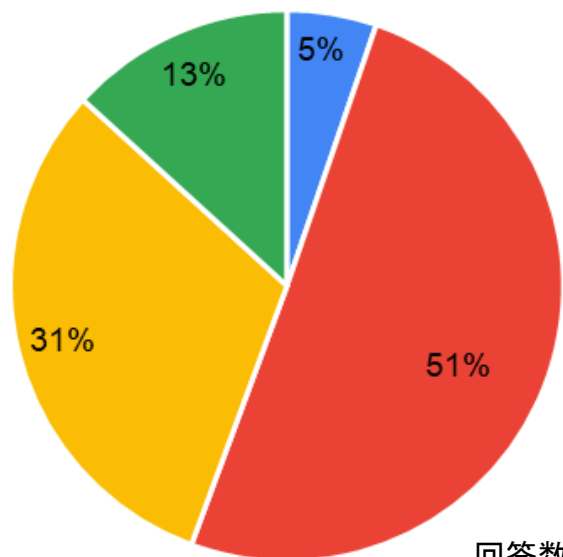
年齢別回答



・20代から30代で、不便を感じた割合が増加している。
・30代以降の回答で、不便を感じた割合は概ね7割程度であった。

10.現在、連携の必要性を感じないのはなぜですか？

全体・所属学会別回答

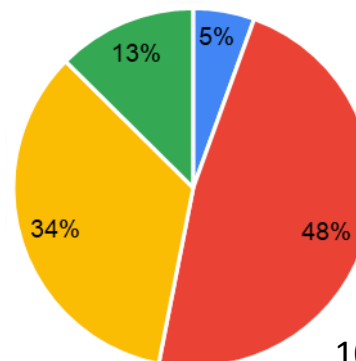


回答数: 764
※問8参照

- 連携にあたって調整などの仕事が増えるから
- 業界としては連携する必要があるが、個人としては連携する必要性を感じないから
- 現状の土木業界や建築業界の在り方に問題を感じていないから
- その他

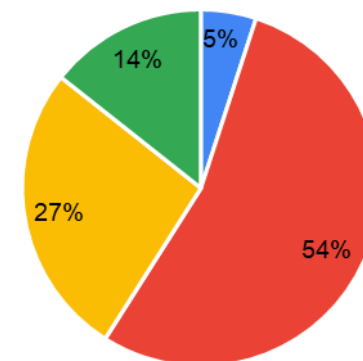
・両方の学会に所属している人は、「業界としては連携する必要があるが、個人としては連携する必要性を感じない」割合が大きい

10. (土木学会所属)



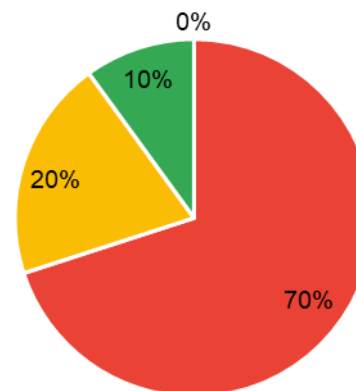
回答数: 454
※問8参照

10. (日本建築学会所属)



回答数: 300
※問8参照

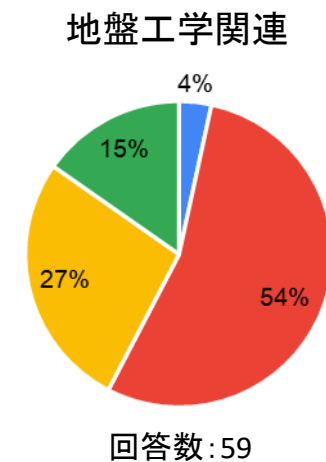
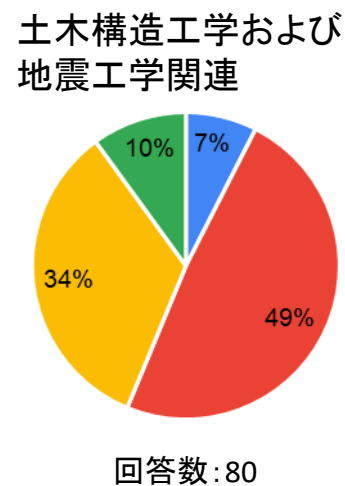
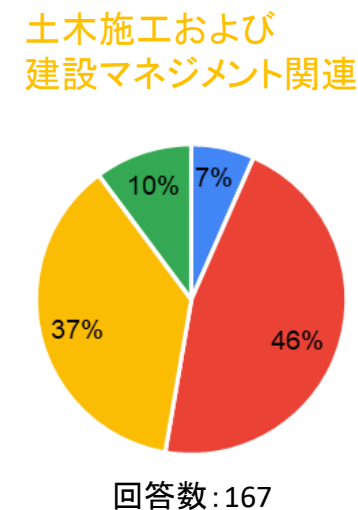
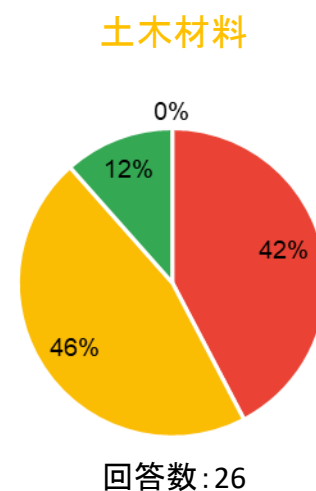
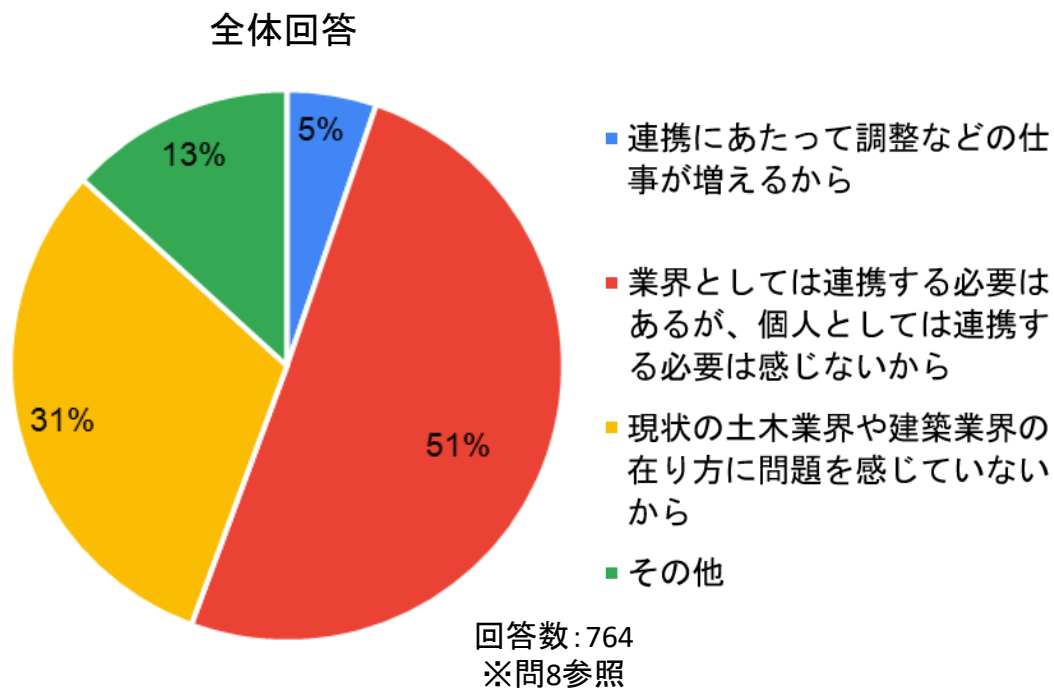
10. (両方)



回答数: 10
※問8参照

10.現在、連携の必要性を感じないのはなぜですか？

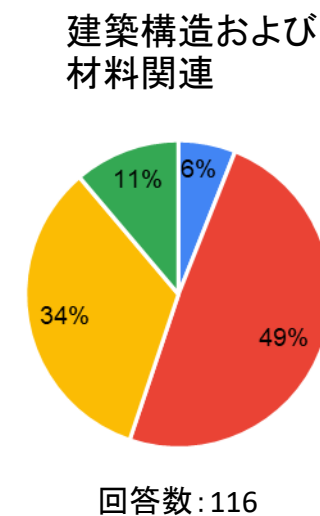
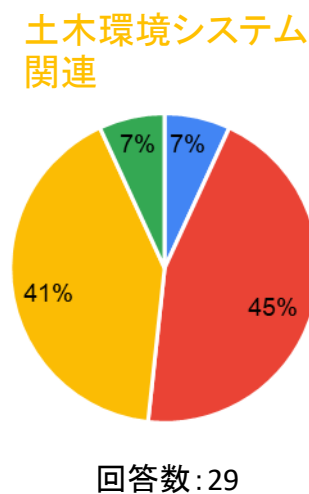
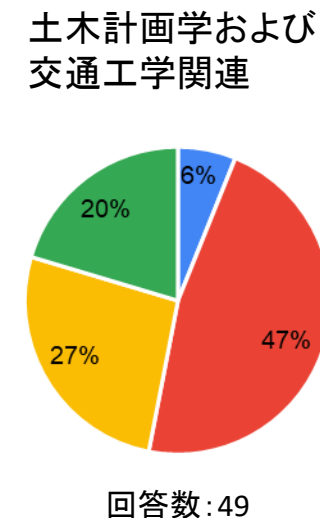
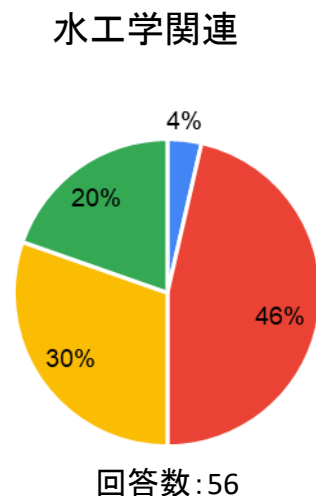
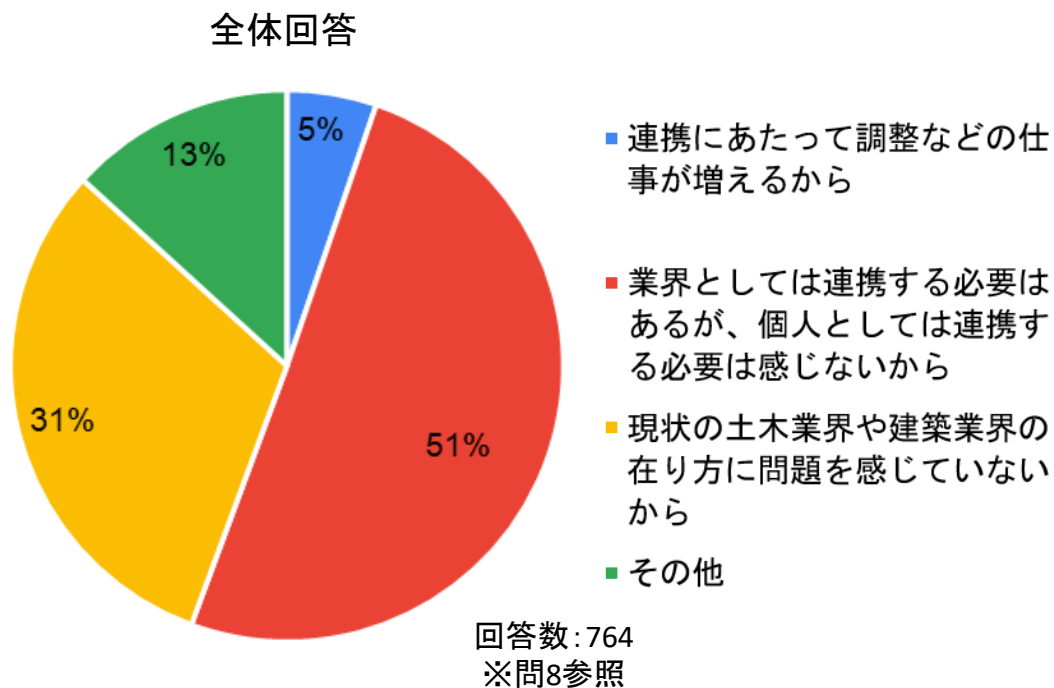
専門分野別回答(土木系分野)



・「土木材料」、「土木施工および建設マネジメント関連」では「現状の在り方に問題を感じていない」割合が大きい

10.現在、連携の必要性を感じないのはなぜですか？

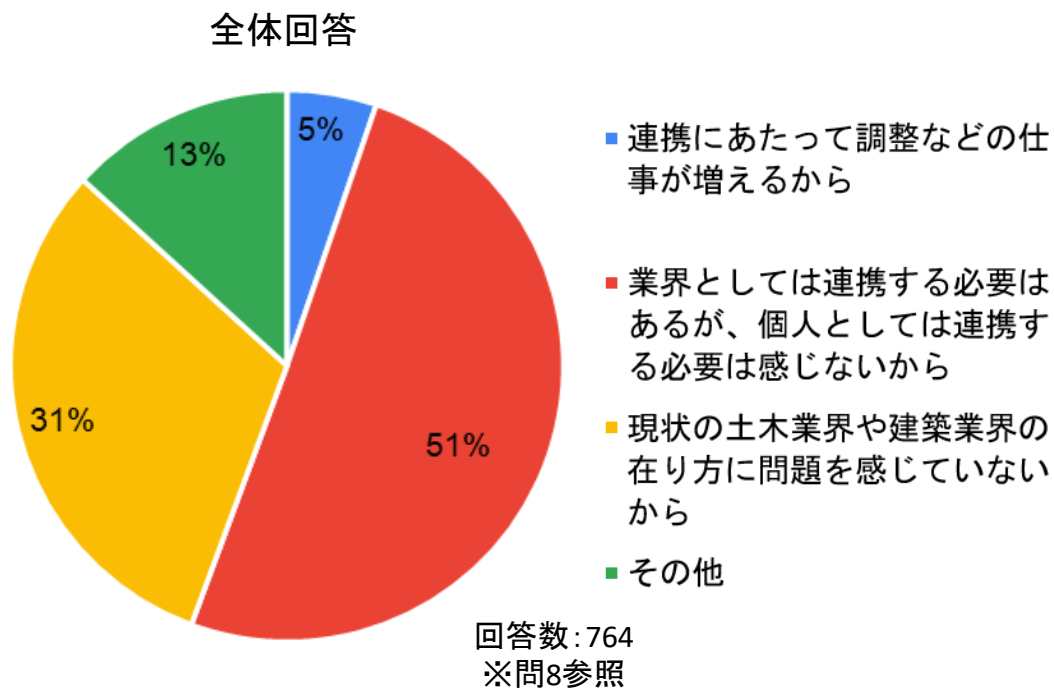
専門分野別回答(土木系分野)



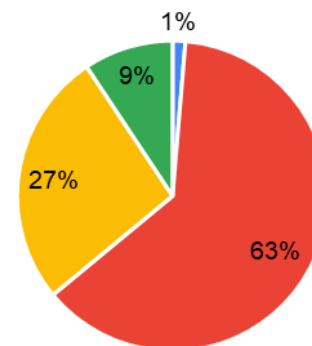
・「土木環境システム関連」では「現状の在り方に問題を感じていない」割合が大きい

10.現在、連携の必要性を感じないのはなぜですか？

専門分野別回答(建築系分野)

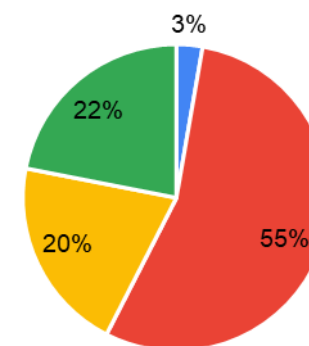


建築環境および建築設備関連



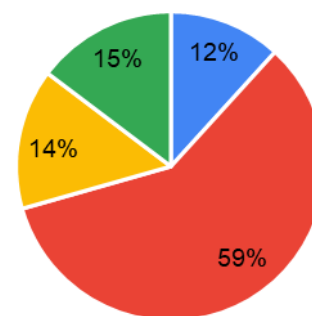
回答数: 75

建築計画および都市計画関連



回答数: 73

建築史および意匠関連

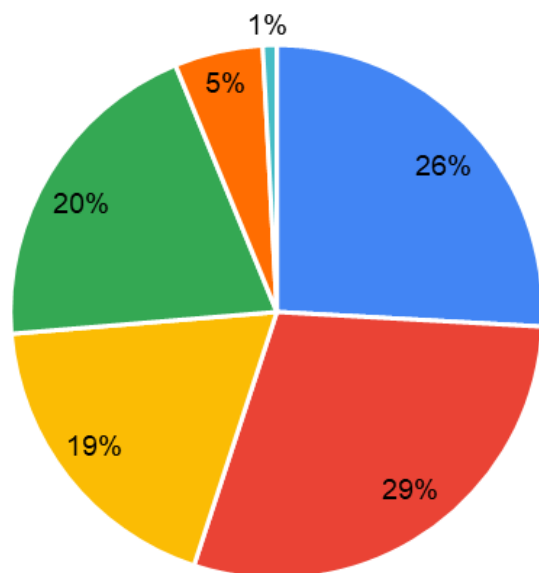


回答数: 34

・「建築環境および建築設備関連」、「建築史および意匠関連」では、「個人としては連携する必要性を感じない」割合が大きい

11.土木・建築が連携するにあたって、どのようなところに不便を感じていますか？(3つまで選択可)

全体・所属学会別回答



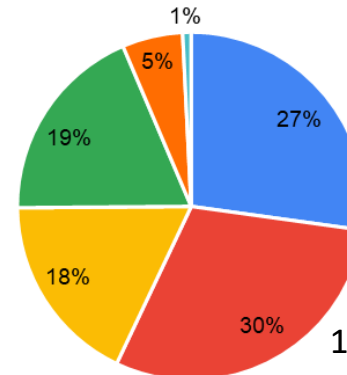
回答数: 8123

- 法令の煩雑さ：例) 1つの事業でも扱うものによって参照すべき法令が異なる
- 技術の違い：例) 技術基準, 用語・数式, ツールなどが異なっていて、誤解が生じる
- 組織の壁：例) 所属組織, 学協会, 業界などが異なり、研究などに支障が出る
- 価値観の違い：例) 受けてきた教育の違い等により、基本的に目指すところが違うなど価値観が異なる
- 連携による仕事の増加：例) 連携にあたって通常よりも作業量や調整が増加する

■ その他

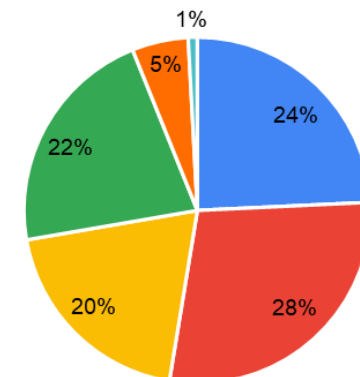
・建築学会と土木学会で、不便を感じている点に大きな差異はない
 ・「法令の煩雑さ」、「技術の違い」に不便を感じている割合が大きい。

11. (土木学会所属)



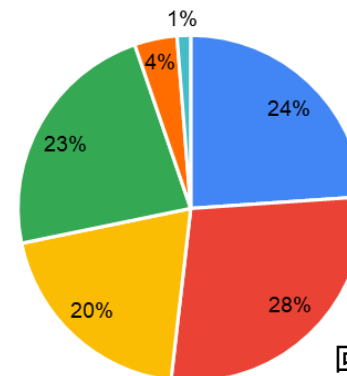
回答数: 4560

11. (日本建築学会所属)



回答数: 2936

11. (両方)

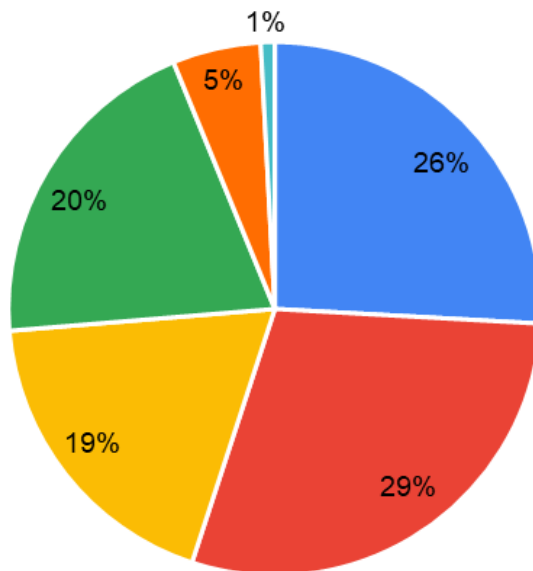


回答数: 627

11.土木・建築が連携するにあたって、どのようなところに不便を感じていますか？(3つまで選択可)

専門分野別回答(土木系分野)

全体回答



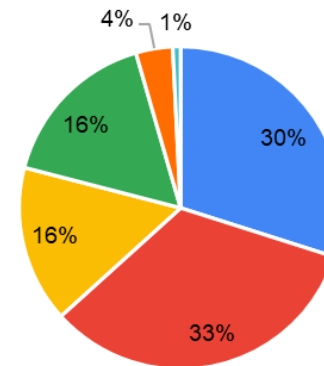
回答数:8123

- 法令の煩雑さ：例) 1つの事業でも扱うものによって参照すべき法令が異なる
- 技術の違い：例) 技術基準, 用語・数式, ツールなどが異なっていて、誤解が生じる
- 組織の壁：例) 所属組織, 学協会, 業界などが異なり、研究などに支障が出る
- 価値観の違い：例) 受けてきた教育の違い等により、基本的に目指すところが違うなど価値観が異なる
- 連携による仕事の増加：例) 連携にあたって通常よりも作業量や調整が増加する

■ その他

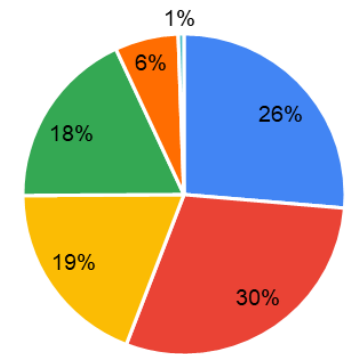
・「土木材料」、「土木構造工学および地震工学関連」では、「技術の違い」の点で不便を感じている割合が大きい

土木材料



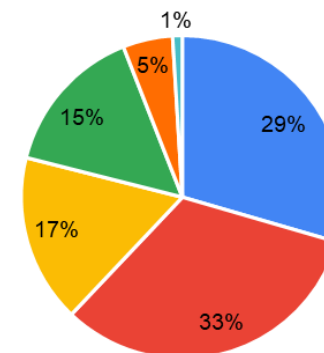
回答数:515

土木施工および建設マネジメント関連



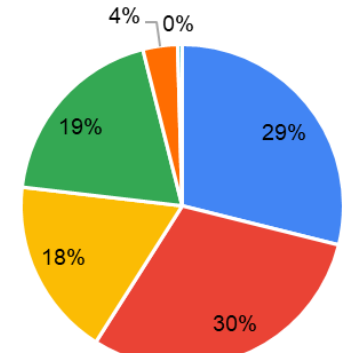
回答数:1757

土木構造工学および地震工学関連



回答数:1021

地盤工学関連

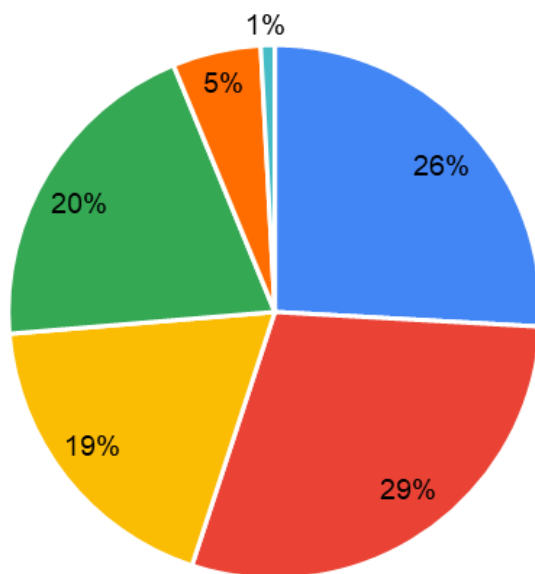


回答数:661

11.土木・建築が連携するにあたって、どのようなところに不便を感じていますか？(3つまで選択可)

専門分野別回答(土木系分野)

全体回答



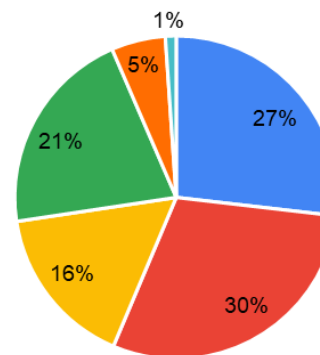
回答数:8123

- 法令の煩雑さ：例) 1つの事業でも扱うものによって参照すべき法令が異なる
- 技術の違い：例) 技術基準, 用語・数式, ツールなどが異なっていて、誤解が生じる
- 組織の壁：例) 所属組織, 学協会, 業界などが異なり、研究などに支障が出る
- 価値観の違い：例) 受けてきた教育の違い等により、基本的に目指すところが違うなど価値観が異なる
- 連携による仕事の増加：例) 連携にあたって通常よりも作業量や調整が増加する

■ その他

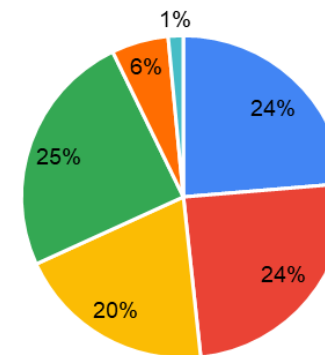
・「土木計画学および交通工学関連」、「土木環境システム関連」では、「価値観の違い」の点で不便を感じている割合が大きい

水工学関連



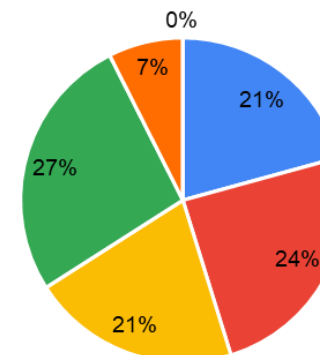
回答数:369

土木計画学および交通工学関連



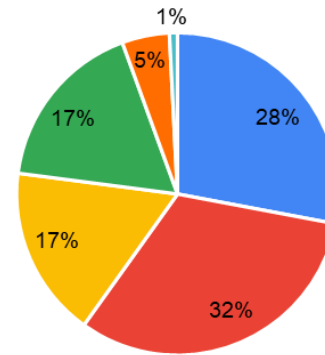
回答数:528

土木環境システム関連



回答数:188

建築構造および材料関連

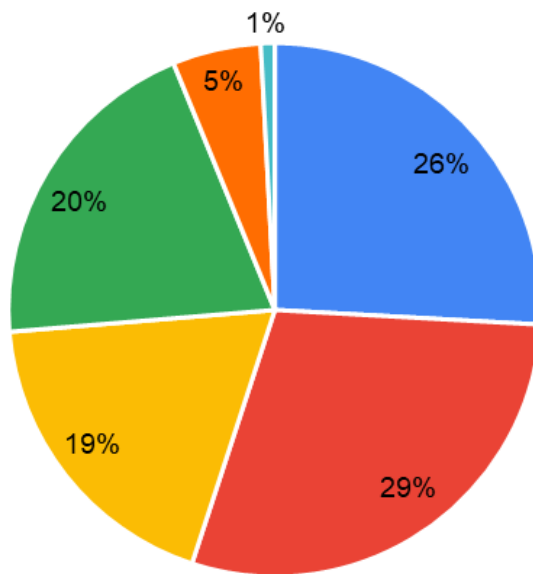


回答数:1613

11.土木・建築が連携するにあたって、どのようなところに不便を感じていますか？(3つまで選択可)

専門分野別回答(建築系分野)

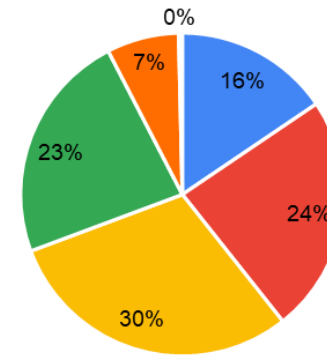
全体回答



回答数:8123

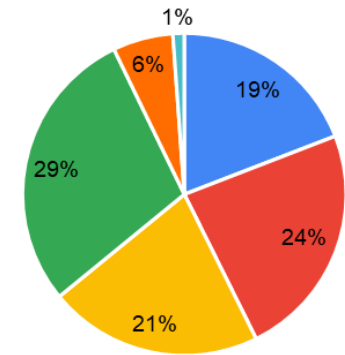
- 法令の煩雑さ：例) 1つの事業でも扱うものによって参照すべき法令が異なる
- 技術の違い：例) 技術基準, 用語・数式, ツールなどが異なっていて、誤解が生じる
- 組織の壁：例) 所属組織, 学協会, 業界などが異なり、研究などに支障が出る
- 価値観の違い：例) 受けてきた教育の違い等により、基本的に目指すところが違うなど価値観が異なる
- 連携による仕事の増加：例) 連携にあたって通常よりも作業量や調整が増加する
- その他

建築環境および建築設備関連



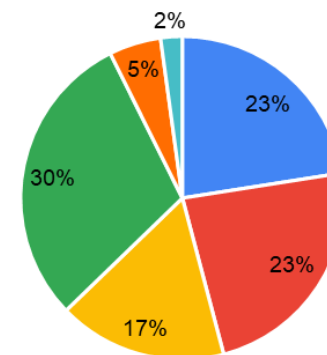
回答数:277

建築計画および都市計画関連



回答数:963

建築史および意匠関連

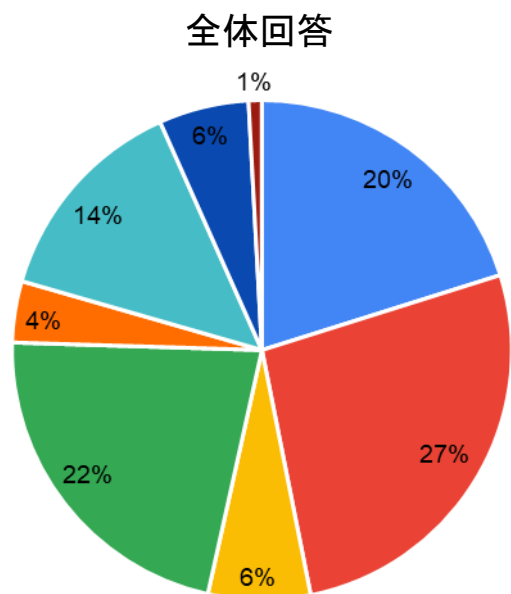


回答数:231

- ・「建築環境および建築設備関連」では、「組織の壁」の点で不便を感じている割合が大きい
- ・「建築計画および都市計画関連」、「建築史および意匠関連」では、「価値観の違い」の点で不便を感じている割合が大きい

12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

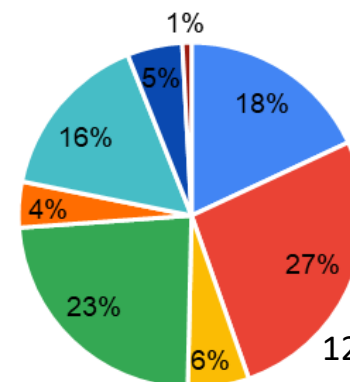
全体・所属学会別回答



回答数:15015

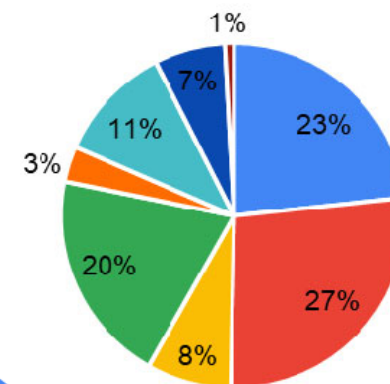
- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする（娯楽、余暇）
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他

12. (土木学会所属)



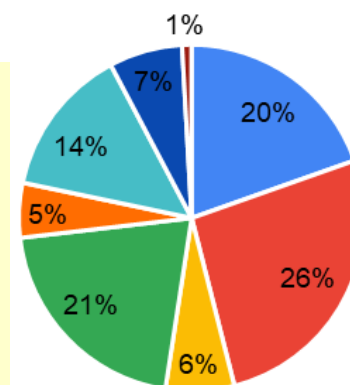
回答数:8392

12. (日本建築学会所属)



回答数:5721

12. (両方)



回答数:903

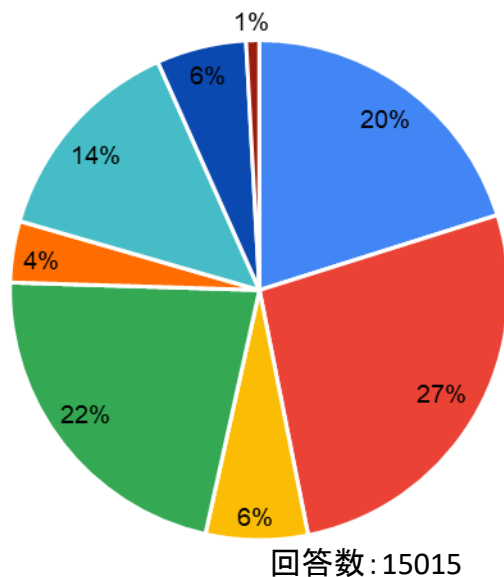
・両学会ともに、「地球環境」「人命と財産」「快適な生活環境」の観点で連携の必要性を感じている。
 ・建築学会は、土木学会よりも「地球環境を守る」点で土木学会との連携を必要と感じている。
 ・土木学会は、建築学会よりも「経済発展」の点で建築学会との連携が必要と感じている。
 ・両学会に所属している人は、土木学会所属者と同様に、「地球環境を守る」点での連携を必要と考える割合は比較的小さい。

12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

専門分野別回答

12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？（現在、連携の必要性を感じない方も将来の観点で回答ください。）（3つまで選択可）

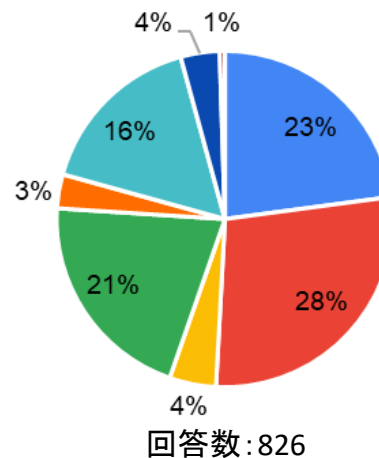
全体回答



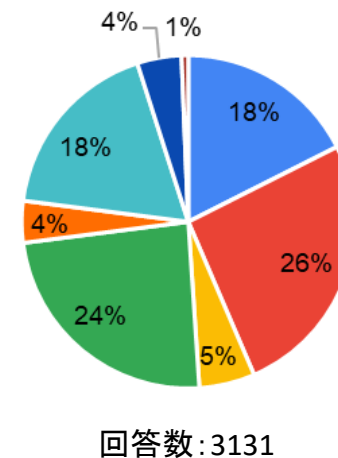
- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする（娯楽、余暇）
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他

・全体回答の傾向と概ね同様である

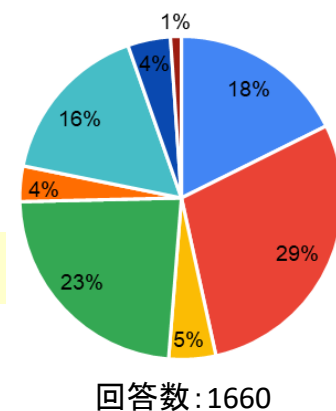
土木材料



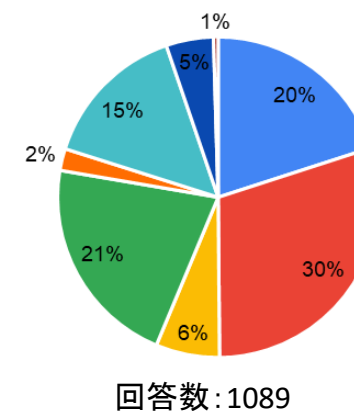
土木施工および建設マネジメント関連



土木構造工学および地震工学関連

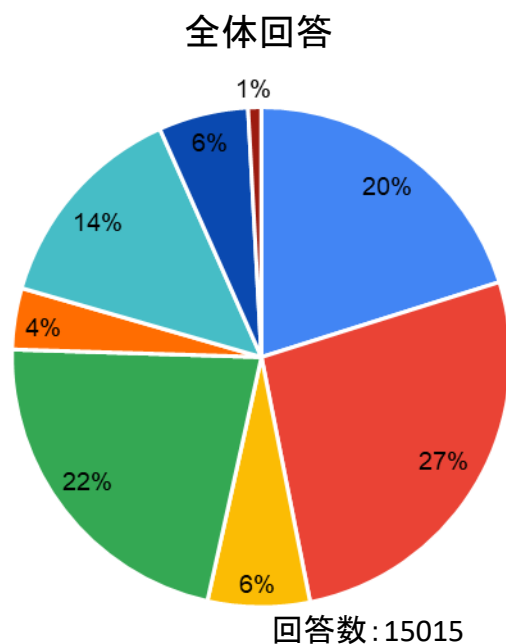


地盤工学関連



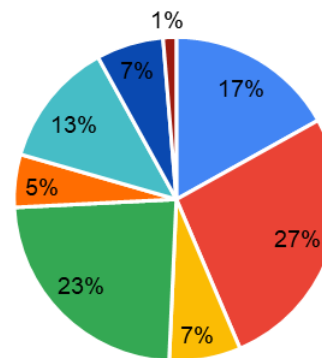
12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

専門分野別回答

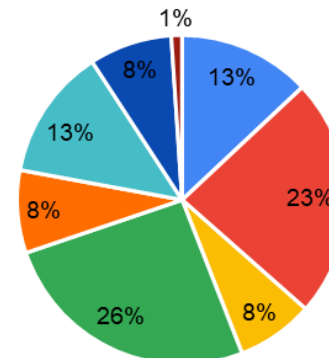


- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする（娯楽、余暇）
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他

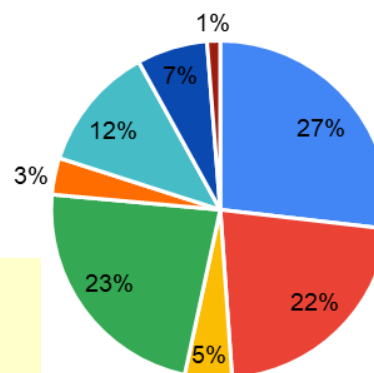
水工学関連



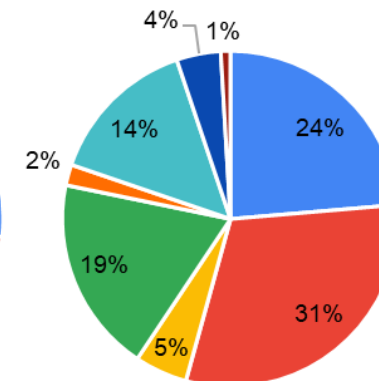
土木計画学および交通工学関連



土木環境システム関連



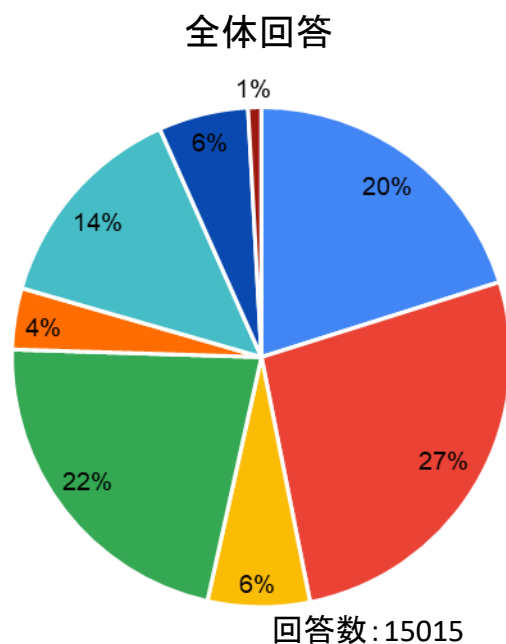
建築構造および材料関連



・「土木計画学および交通工学関連」では、「快適な生活環境を作る」点で連携の必要性を感じている割合が大きい
 ・「建築構造および材料関連」では、「人の命と財産を守る」点で連携の必要性を感じている割合が大きい

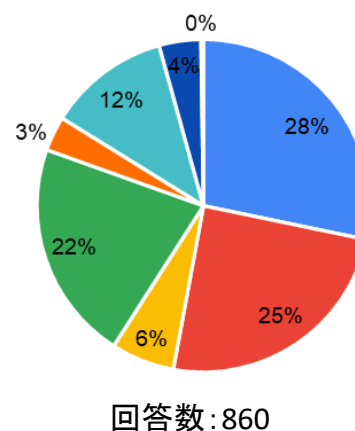
12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

専門分野別回答(土木系・建築系分野)

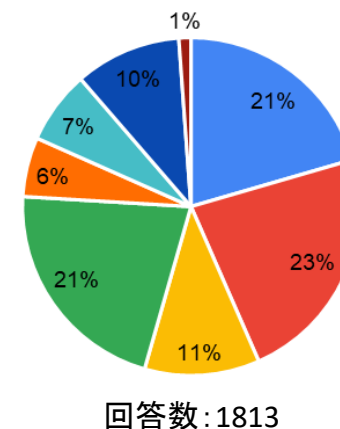


- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他

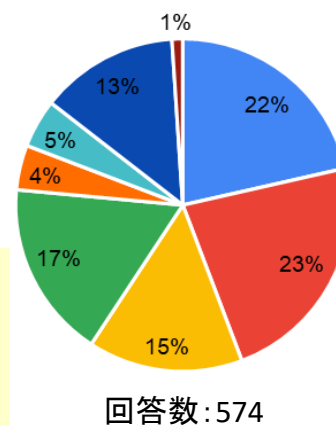
建築環境および建築設備関連



建築計画および都市計画関連



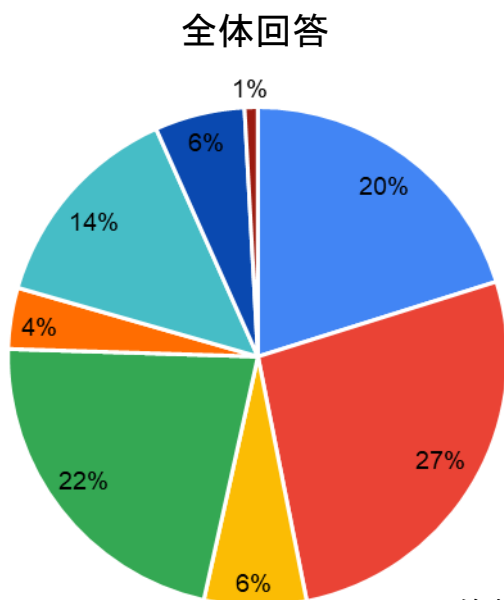
建築史および意匠関連



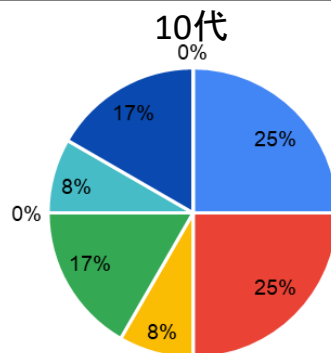
・「建築環境および建築設備関連」では、「地球の環境を守る」点で連携の必要性を感じている割合が大きい
 ・「建築史および意匠関連」では、「文化的価値を保全する」点で連携の必要性を感じている割合が大きい

12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

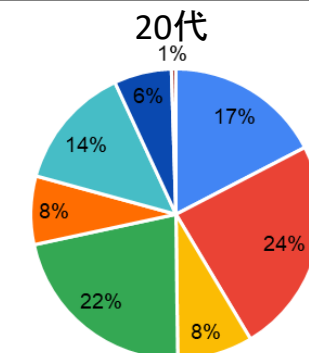
年齢別回答



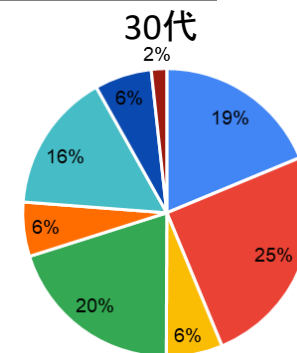
回答数: 15015



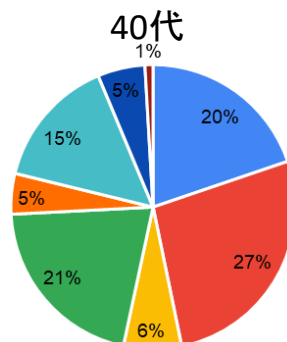
回答数: 12



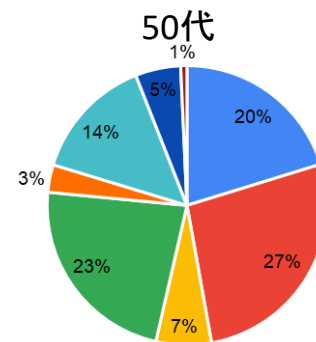
回答数: 1012



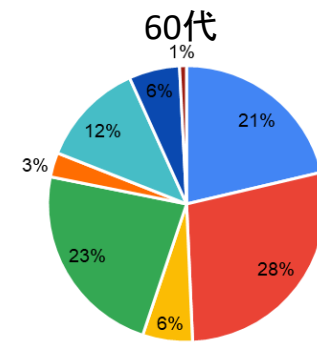
回答数: 1840



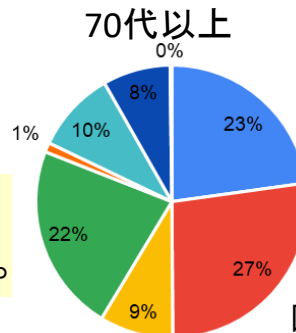
回答数: 3379



回答数: 4847



回答数: 2943



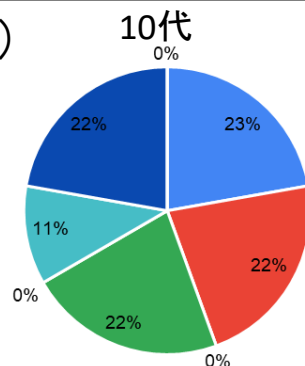
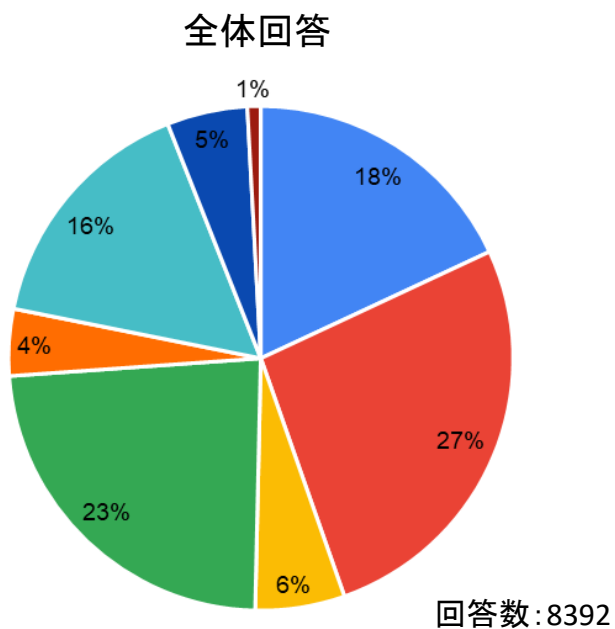
回答数: 982

- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする（娯楽、余暇）
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他

・若い年代ほど「人生を豊かにする」点で連携の必要性を感じている割合が大きい。

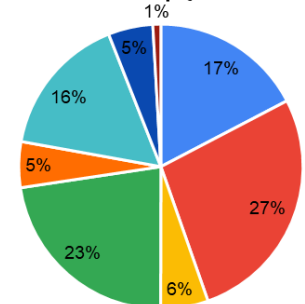
12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

年齢別回答(土木学会所属)



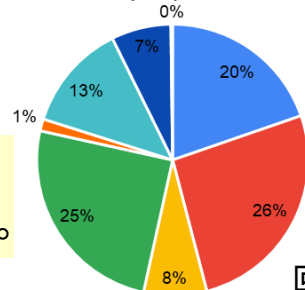
回答数: 9

40代

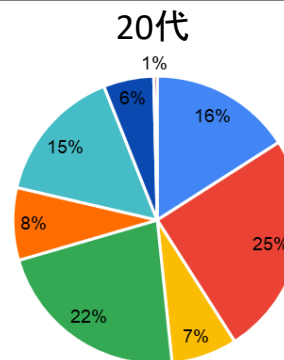


回答数: 1867

70代以上

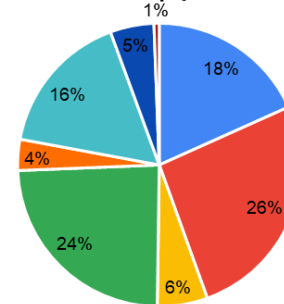


回答数: 492

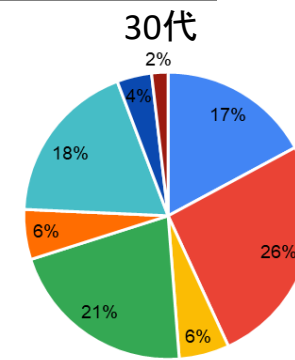


回答数: 515

50代

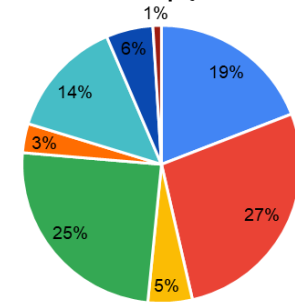


回答数: 2821



回答数: 976

60代

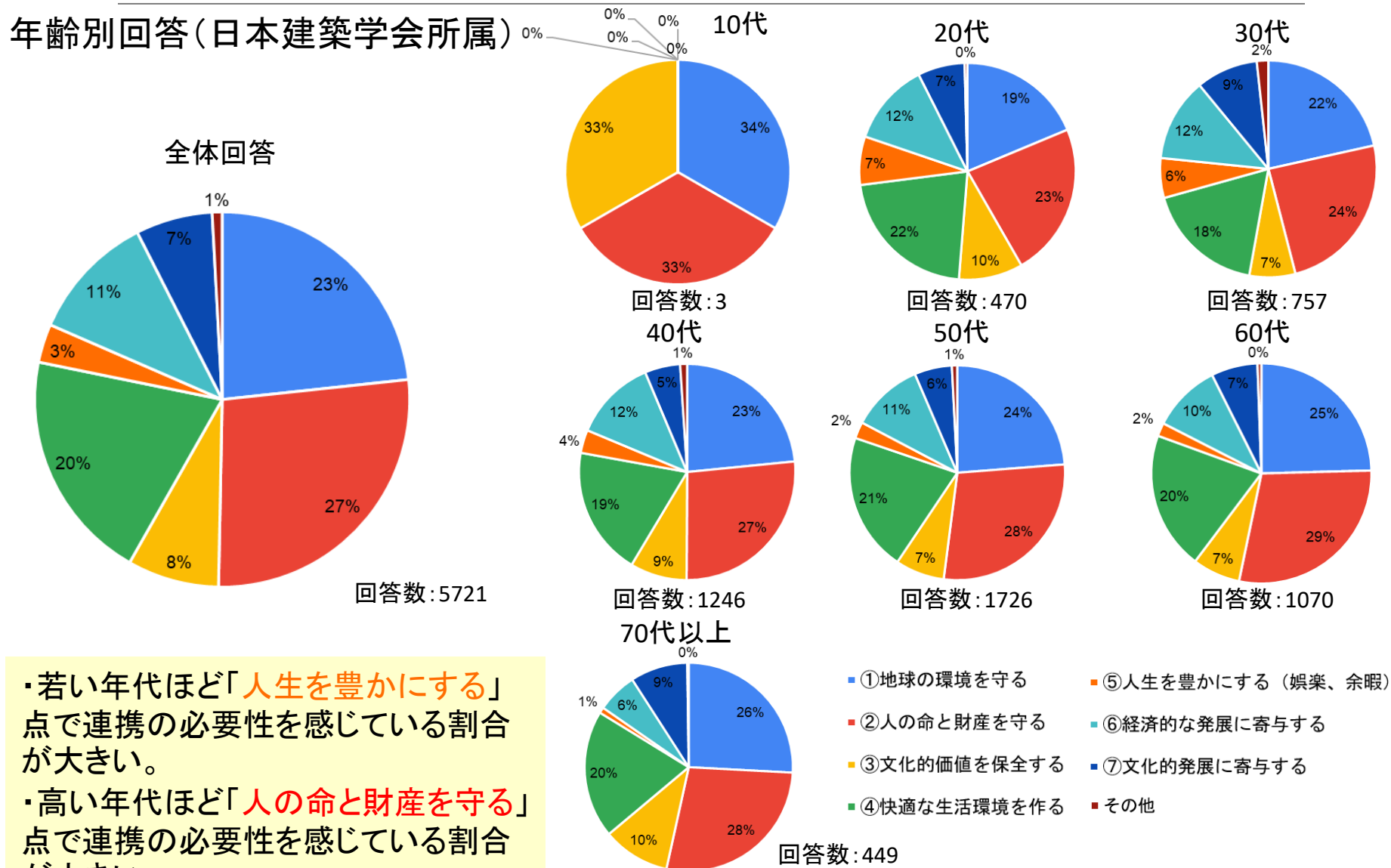


回答数: 1712

- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他

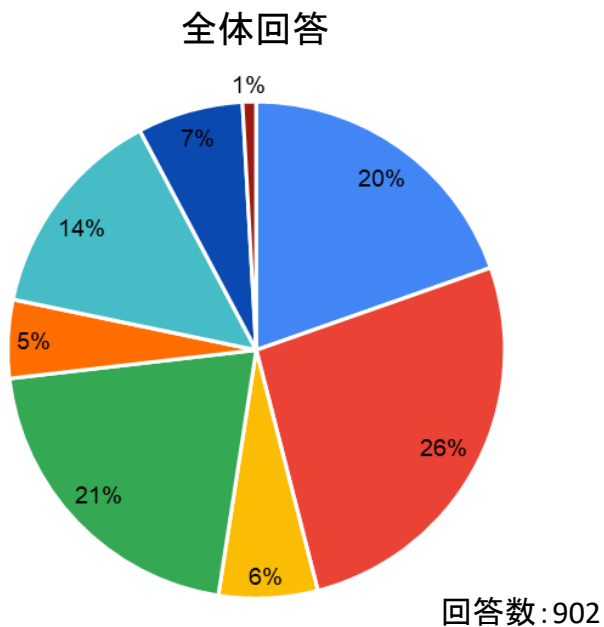
・若い年代ほど「人生を豊かにする」点で連携の必要性を感じている割合が大きい。

12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？



12. 今後、土木と建築はどのような内容に対して連携して取り組むべきと考えますか？

年齢別回答(両学会所属)

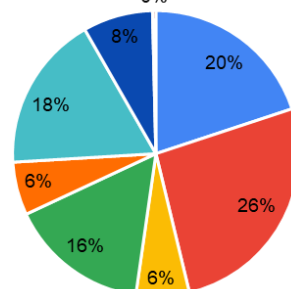


10代

該当なし

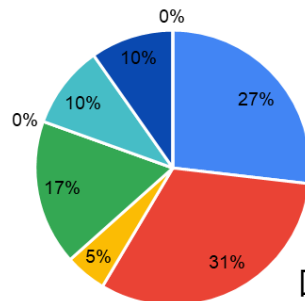
回答数: 0

40代



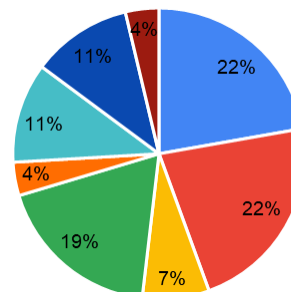
回答数: 266

70代以上



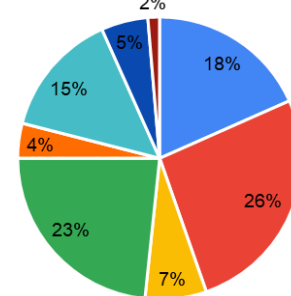
回答数: 41

20代



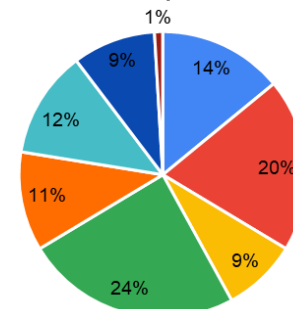
回答数: 27

50代



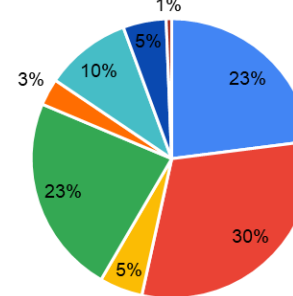
回答数: 300

30代



回答数: 107

60代



回答数: 161

・高い年代ほど「人の命と財産を守る」点で連携の必要性を感じている割合が大きい。

- ①地球の環境を守る
- ②人の命と財産を守る
- ③文化的価値を保全する
- ④快適な生活環境を作る
- ⑤人生を豊かにする(娯楽、余暇)
- ⑥経済的な発展に寄与する
- ⑦文化的発展に寄与する
- その他